令和7年度
留学生が学び・住み・就職して良しの熊本県版・国際化推進事業

「受入れ促進強化」業務
【成果物】

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、≪一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会≫が実施した令和7年度「専修学校の国際化推進事業」の成果をとりまとめたものです。

令和8年3月2日

一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会

R7年度国際化推進事業【受入れ促進強化】業務

■件　名

R7年度国際化推進事業【受入れ促進強化】業務

■目的

・熊本県の専修学校を広く国外に発信し、より多くの外国人留学生が熊本県を留学先として認知してもらうために、ターゲット国にて熊本県留学フェア・説明会を実施または出展する。

・ターゲット国からの留学生受入れを促進するため、各国の教育委機関との連携強化・訪問を行う。

・熊本県の留学・就職情報、奨学金等の補助に関する情報に触れることができる相談窓口として、ターゲット国にワンストップ情報センターを設置し、留学から就職までの一貫したサポート体制を構築する。

・台湾人留学生受入れ促進を目指し、台湾の傾向に合わせた受入プログラムの実証を行う。

■納品物件及び数量：

①ターゲット国での熊本留学フェアの開催業務

ミャンマー、モンゴル、台湾　各国1回、フェア・説明会を開催又は出展

②ターゲット国の日本語教育機関及び国内日本語学校との更なる提携業務

ターゲット国との連携強化・訪問

・モンゴル　　FUJI EDU MONGOLIAを含む３機関
・ミャンマー　J Compassを含む３機関
・モンゴル、　ミャンマーの学生を受け入れる県外日本語学校　2校、
・台湾　　日学館留学センター、高雄市立六亀高級中学を含む14機関

③ターゲット国内でのワンストップ情報センターの設置

・ミャンマー　J Compass、
・モンゴル　　FUJI EDU MONGOLIA
・台湾　　日学館、UF JAPAN、東禾外国語学校

④台湾人留学生向け短期滞在受け入れモニター実施業務

1回実施(2026年2月4～7日、参加者14名＋教員2名)

①ターゲット国での熊本留学フェアの開催業務

①ターゲット国での熊本留学フェアの開催業務

■ターゲット国での熊本留学フェアの内容と総括

・熊本県の専修学校を広く国外に発信し、より多くの外国人留学生が熊本県を留学先として認知してもらうために、各国の状況に合わせて、熊本留学フェアの開催や、日本留学フェアへ出展、オンラインによる開催を行った。また、合わせて、熊本県の魅力を発信、個別の質疑応答、相談を実施した。

（モンゴル）

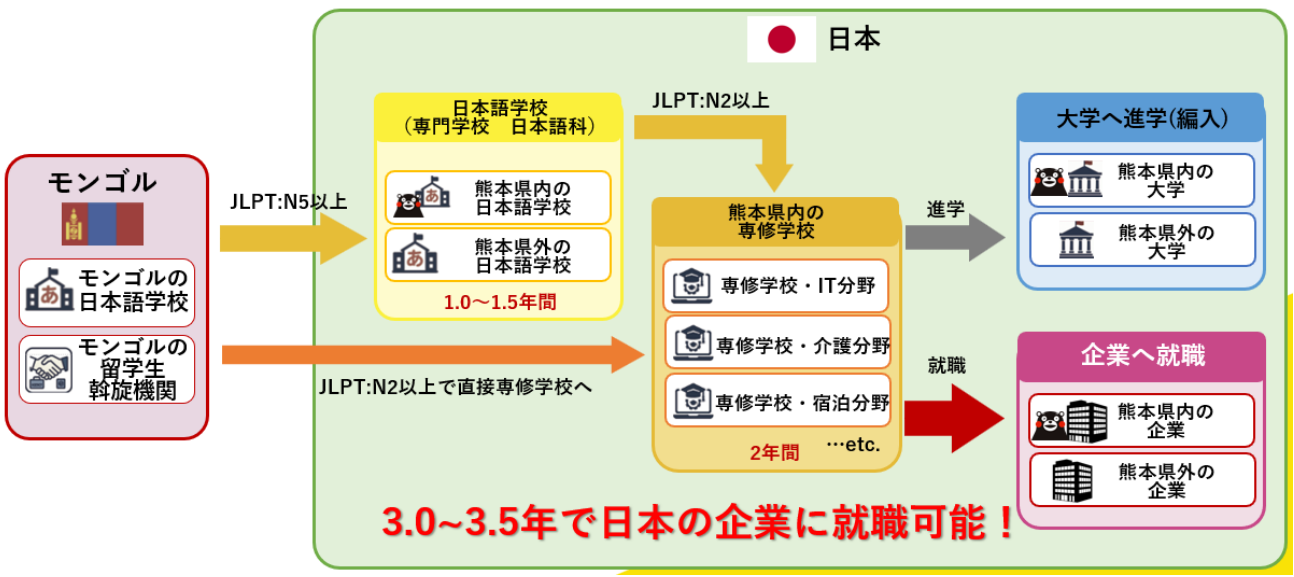
・モンゴルでは、1年目で提携を深めた日本語教育機関FUJI EDU MONGOLIA社が主催する

「日本留学フェア」に出展し、学校説明や留学相談対応を行った。

・当日は、熊本県専修学校各種学校連合会の「特設ブース」を設置し、6校の紹介を行った。2日間で1,000人を超える来訪者ががある中で、「特設ブース」には200人を超える着席を促し、熊本県の魅力、各学校の紹介等を行い、熊本県への留学の機運を高めることができた。

・来訪者の中から来８年度、熊本の専門学校に入学予定の学生も実際にでてきている。

【モンゴルから専修学校への入学と就職の流れ】



①ターゲット国での熊本留学フェアの開催業務

■ターゲット国での熊本留学フェアの内容と総括

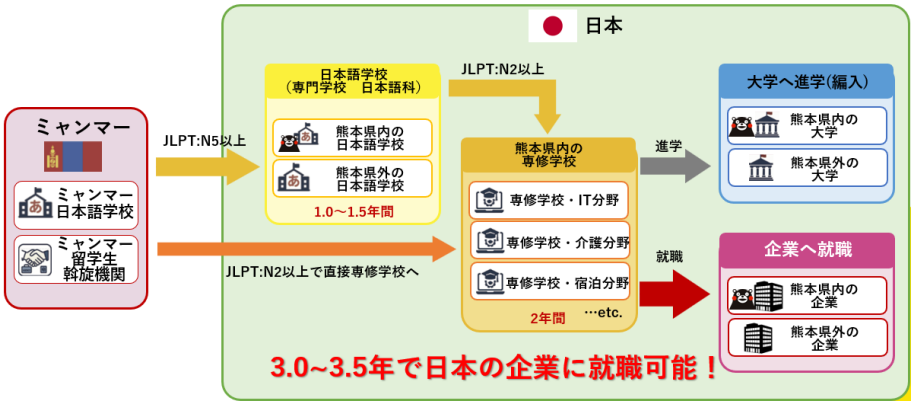
（ミャンマー）

・ミャンマーにおいては、政治情勢が不安定であること、2025年3月のミャンマー中部マンダレーでの地震の被害もあることから、現地で熊本フェアを行うより、オンラインで説明会形式で開催する方が、ミャンマー国内の留学生が参加しやすいという判断から、オンラインの説明会を実施した。

・熊本県専修学校各種学校連合会の紹介、専門学校、日本語学校の紹介と説明会、各学校ごとに分かれての個別質疑応答・相談会を実施した。

・申込者数：34名、当日参加者数：約15名であったが、留学生は熱心に聞き入っていた。出願者意向の学生が数名おり、合格内定を得た学校もあったが、諸事情で入学には至らなかった。ミャンマーにおいては、オンラインで説明会が有効であることがわかった。

【ミャンマーから専修学校への入学と就職の流れ】



（台湾）

・台湾については、遊学・短期プログラムを行いたい現地の高校をターゲットとして、フェアへの参加や高校訪問、情報発信をおこなった。

・独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）は主催する「日本留学フェア」に、熊本県の情報発信を兼ねて、会場内でPR紹介を行った。遊学・短期プログラムについては、反響も良く、今年度の実施への手ごたえを感じた。

・台湾では、TSMCの影響で、熊本に対する認知度は格段に上がっていた。旅行者を含めてビジネス・交流機会はますます増えるので、遊学・短期プログラムについても高評価であった。

①ターゲット国での熊本留学フェアの開催業務　【モンゴル】

◎モンゴル
・モンゴル国内にて熊本県の専修学校を広く発信し、より多くのモンゴル人留学生が熊本県を留学先として認知してもらうために、日本留学フェアにて熊本県ブースを設け、情報発信を行うとともに、熊本県への留学を見据えた相談対応を行った。
・また、モンゴル国内での熊本への留学に関するワンストップ情報センターの設置、情報発信媒体の立ち上げをFUJI EDU MONGOLIAに依頼する。

【本事業　委員】

氏名	所属	役職
木庭順子	一般社団法人 熊本県専修学校各種学校連合会	会長
	学校法人 熊本壺溪塾学園	理事長
野島 謙一郎	一般社団法人 熊本県専修学校各種学校連合会	委員
	学校法人 立志学園 九州中央リハビリテーション学院	介護教育部長
竹島加奈子	一般社団法人 熊本県専修学校各種学校連合会	委員
	学校法人 熊本壺溪塾学園	企画本部長

【事務局・その他】

氏名	所属	役職
グエン ズイ アン	GAG日本語学院	校長
坂本重忠	GAG日本語学院	事務局長
前田和樹	福岡国際学院	マネージャー
井手修身	イデアパートナーズ株式会社	代表取締役
家守里佳	イデアITカレッジ阿蘇	マーケティングチーフ

【熊本留学フェアの開催】

1．留学フェア基本情報

◆開催日時：2025年９月６日(土)、７日(日)
　モンゴル時間12:00～16:00
◆会場：Blue Sky Hotel Tower
◆主催者：FUJI EDU MONGOLIA



①ターゲット国での熊本留学フェアの開催業務　【モンゴル】

【熊本留学フェアの開催】

2. 開催目的・概要

モンゴルの留学生を熊本県の専門学校および日本語学校で受け入れることを目的に、FUJI EDU MONGOLIA主催の日本留学フェアに出展し、学校説明や留学相談対応を行った。

3. 参加学校・来場者情報

【参加学校】

〇専門学校：壺渓塾、九州中央リハビリテーション学院、熊本YMCA学院

※連携校：イデアITカレッジ阿蘇、 GAG日本語学校、福岡国際学院

【全体参加状況】

◆来場者数：9月6日㈯　→　５４９名

9月7日㈰　→　４９２名

※　イデアITカレッジ阿蘇へ３名入学予定

4. 開催の様子、説明資料

◆フェアの様子

















①ターゲット国での熊本留学フェアの開催業務　【モンゴル】

◆熊専各PRスライド



1



2



3



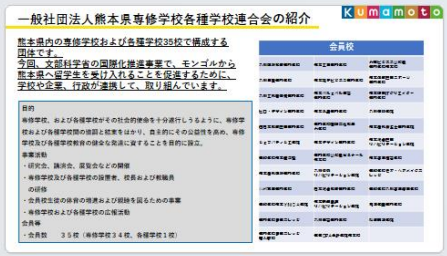
4



5



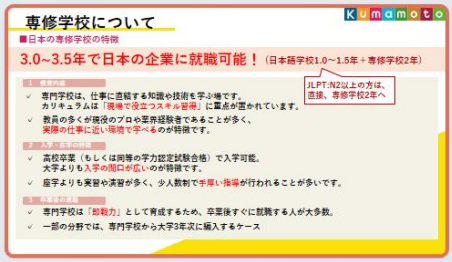
6



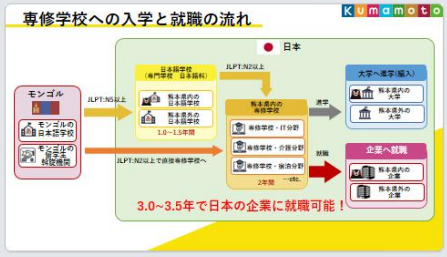
7



8



9



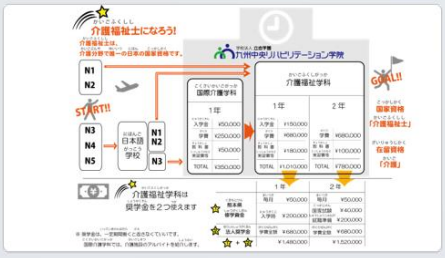
10



11



12



13



14



15



16

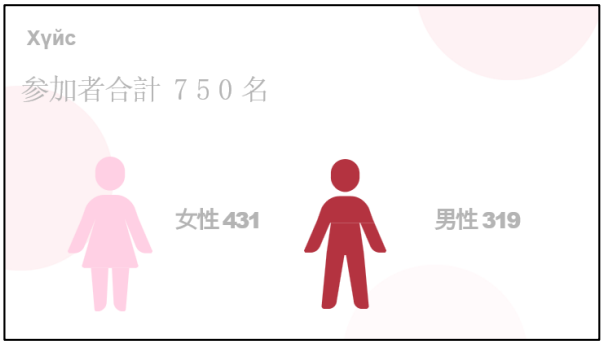


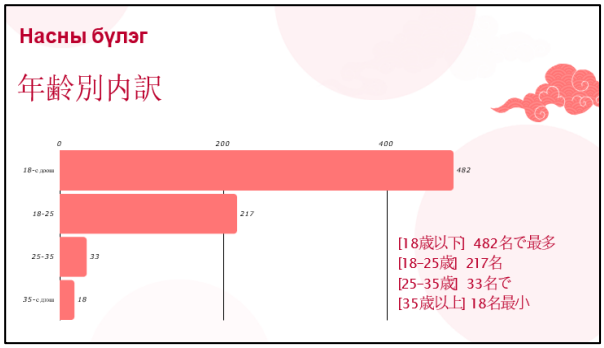
17

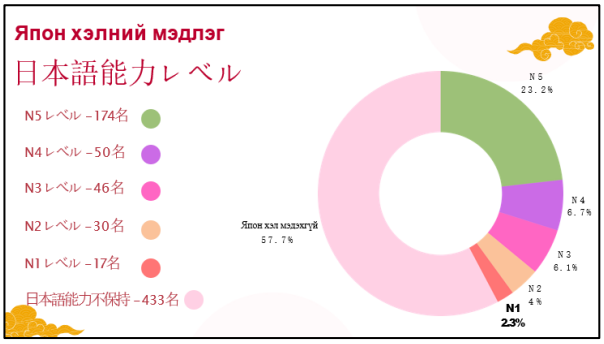

18

【熊本留学フェアの開催】

5．参加者アンケート結果（抜粋）









◆参加者の感想

・非常に有益なイベントでした。必要な情報を得ることができました。面白かったです。

・語学学校の情報はたくさんありましたが、大学の情報がもっとあればよかったです。

・奨学金プログラムに関する情報があれば良い。

・イベントの開催頻度を増やして欲しい

①ターゲット国での熊本留学フェアの開催業務　【ミャンマー】

◎ミャンマー
ミャンマー国内にて熊本県の専修学校を広く発信し、より多くのミャンマー人留学生が熊本県を留学先として認知してもらうために、オンライン留学説明会を開催。また、ミャンマー国内に本事業に関する情報発信ブースを設け、情報発信を行うとともに、日本語教育機関との連携の更なる緊密化を図った。

【本事業　委員】

氏名	所属	役職
木庭順子	一般社団法人 熊本県専修学校各種学校連合会	会長
	学校法人 熊本壺溪塾学園	理事長
志垣伸太郎	一般社団法人 熊本県専修学校各種学校連合会	副会長
	学校法人 立志学園 九州中央リハビリテーション学院	専務理事
竹島加奈子	一般社団法人 熊本県専修学校各種学校連合会	委員
	学校法人 熊本壺溪塾学園	企画本部長

【事務局・その他】

氏名	所属	役職
尾道一幸	専修学校熊本YMCA学院	校長
吉田万貴	専修学校熊本YMCA学院	
鈴木俊良	イデアITカレッジ阿蘇	副校長
家守里佳 坂本重忠	GAG日本語学院	事務局長
	イデアパートナーズ株式会社	代表取締役
井手修身	イデアITカレッジ阿蘇	マーケティングチーフ

【熊本留学フェアの開催】

1．留学フェア基本情報
◆開催日時：2025年8月28日（木）
　日本時間16:00～18:00（ミャンマー時間14:00～16:00）
◆開催形式：オンライン（Zoom）
◆主催者：一般社団法人 熊本県専修学校各種学校連合会
◆現地主催会社：J Compass Education Co., Ltd.
◆進行/事務局：熊本県専修学校各種学校連合会、イデアパートナーズ株式会社

①ターゲット国での熊本留学フェアの開催業務　【ミャンマー】

【熊本留学フェアの開催】

2．開催目的・概要

ミャンマーの留学生を熊本県の専門学校および日本語学校で受け入れることを目的に、オンラインで学校説明会を開催。熊本県の魅力や生活環境の紹介、学校担当者との個別質疑応答を通じ、熊本県への留学希望者の掘り起こしおよび学校とのマッチングを図った。

3．実施内容

時間	内容	担当	備考
16:00～16:05	開会･主催者挨拶	木庭会長	熊専各連合会の概要説明
16:05～16:20	熊本県の紹介	事務局	熊本県の自然･交通･生活を紹介
16:20～16:40	各学校PR（5校）	各校代表	各校の教育内容･募集概要を発表
16:40～17:20	個別質疑応答･相談会	各校担当･通訳	Zoomブレイクアウトルームで対応
17:20～17:50	留学生との懇談･マッチング説明	J Compass	出願･面接･生活相談の説明
17:50～18:00	総括･閉会	事務局	締めの挨拶･今後の連携確認

4．参加者情報

【参加学校】
〇専門学校：九州中央リハビリテーション学院、イデアITカレッジ阿蘇
〇日本語学校：熊本YMCA学院、GAG日本語学院
【全体参加状況】
・申込者数：34名
・当日参加者数：約15名（Zoom最大入室時）

5．個別相談・進捗概要

◆九州中央リハビリテーション学院：介護希望者2名がいたが、日本語条件（N2以上）未達。2026年4月出願には至らず。
◆GAG日本語学院：出願者1名が合格内定を得たが、家計悪化により辞退。
◆熊本YMCA学院：出願相談1名あり。特定技能希望のため要件不一致で出願に至らず。
◆イデアITカレッジ阿蘇：検討者は2名あり。出願には至らず。

6．課題・分析

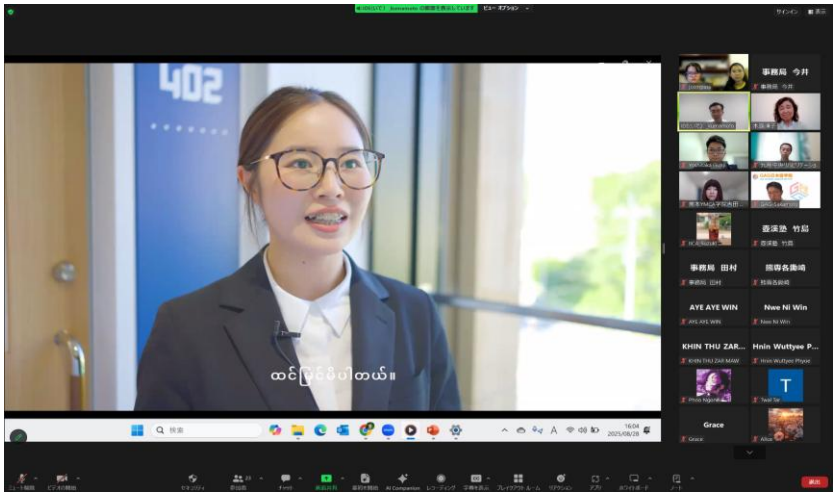
ミャンマー現地での潜在層は多いが、経済的・語学的ハードルが依然高い。
家計支援（奨学金・分納制度など）を含めた制度周知が課題。
現地説明会やSNSによる広報強化を継続。特に「Study in Kumamoto College Information Center Myanmar」Facebookページでの情報発信が有効。

①ターゲット国での熊本留学フェアの開催業務　【ミャンマー】

【熊本留学フェアの開催】

7．開催の様子、添付資料

◆当日のオンライン説明会の様子







①ターゲット国での熊本留学フェアの開催業務　【ミャンマー】

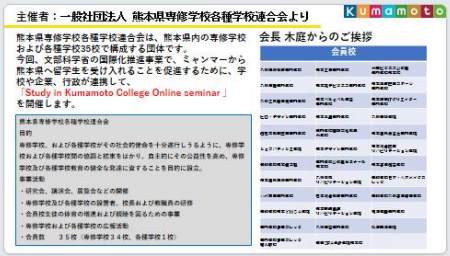
◆熊専各PRスライド



1



2



3









7



8



9



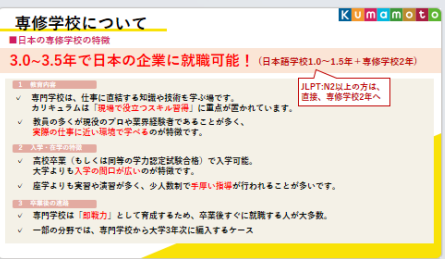
10

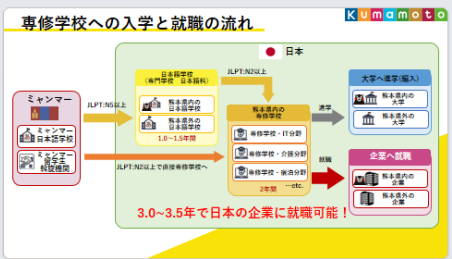


11



12

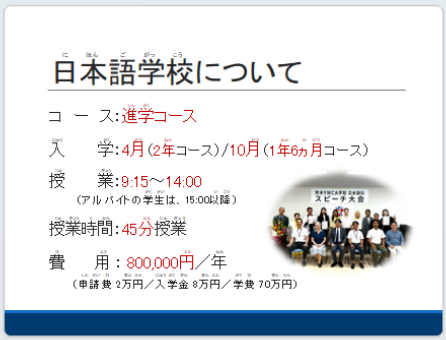








1



2



3

①ターゲット国での熊本留学フェアの開催業務　【台湾】

◎台湾
台湾留学生の誘致、及びニーズ調査を目的として留学フェアにてブース出展を実施。また、本事業の取り組み事項③－４「台湾人留学生向け短期滞在受け入れモニター実施」において造成したプログラムの情報発信及びモニターの獲得を目的として、台湾の各地域の学校を訪問し、現状のニーズ等も含め意見交換を行った。

【本事業　委員】

氏名	所属	役職
木庭順子	一般社団法人 熊本県専修学校各種学校連合会	会長
	学校法人 熊本壺溪塾学園	理事長
竹島加奈子	一般社団法人 熊本県専修学校各種学校連合会	委員
	学校法人 熊本壺溪塾学園	企画本部長
鋤崎麻里	一般社団法人 熊本県専修学校各種学校連合会	事務局

【2025日本留学フェアへの出展】

1．留学フェア基本情報
◆フェア名：2025日本留学フェア（台湾）
◆開催日時：2025年９月20日(土)、21日(日)
　台湾時間　11:00～１７:00
◆会場：台北世界貿易センター
◆主催者：独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）









①ターゲット国での熊本留学フェアの開催業務　【台湾】

【熊本留学フェアの開催】

2．参加目的・概要

◆台湾留学生の誘致: 台湾の高校生、大学生に対して熊専各の魅力を直接伝え、留学への関心を高める。

◆現地調査: 台湾における熊本留学への関心度、具体的なニーズを直接把握し、募集戦略の策定に役立てる。

◆情報収集: 競合となる日本の教育機関や、現地での留学プロモーションの動向に関する情報収集を行う。また熊本の専門学校の集客を図るための具体的な施策を考察し、次年度以降の活動へつなげる。

３．成果と所感

【現地ニーズと留学動向に関する考察】

•高校生へのアプローチの課題: 短期留学の場合、学校の許可が必要となる例もあることが判明した。そのため、生徒や保護者への直接的なアピールだけでなく、まずは教師が短期留学を「体験」し、その安全性や教育効果に確信を持てるような情報提供やプログラムが必要である。

•短期留学のスケジュール: 参加しやすい環境を作るためには、短期留学前後のスケジュールは、現地の学生の学業スケジュールや各家庭のイベントに合わせ、自由度が高い方が好まれる傾向にある。

•ターゲット層の拡大: 高校生だけでなく、留学への意思決定の自由度が高い大学生や一般社会人も重要なターゲットとして捉え、積極的にアプローチすべきである。

【熊本の専門学校への進学可能性と有望分野】

•高い進学可能性: 台湾は親日的なマーケットであり、専門分野の学習に対する関心が高い。特に、「技術を身につけ、日本で就職したい」という明確な目的を持つ学生にとって、専門学校は魅力的な選択肢である。

•有望な受け入れ分野:

◆IT分野: 今回のフェアでも人気が高かった分野であり、熊本の産業構造や半導体関連企業の進出を背景に、最も集客と就職が結びつきやすい分野。その反面、台湾はＩＴ分野では日本よりも高い技術力や知識を誇っている面もあり、日本に留学する場合は有名大学への進学を希望する学生が多い。

◆観光・宿泊分野: 熊本の観光資源の豊富さから、インバウンド需要に対応できる人材育成は魅力的。しかし、日本の観光業を専門学校で学んで就職したいという数はそう多くはない印象だった。

◆介護・福祉分野: 日本全体で人材需要が高く、永住権取得への道も開けやすいため、長期的なキャリアを志向する学生に有効。反面、台湾国内でも介護・福祉分野を希望する学生は少なく、それを日本で学びたいという数も多くないとのことだった。

◆アニメーション・デザイン: ポップカルチャーへの関心は非常に高く、専門性の高さを打ち出せば集客が見込める。

②ターゲット国の日本語教育機関及び国内日本語学校との更なる提携業務

②ターゲット国の日本語教育機関及び国内日本語学校との提携

■国内外の日本語教育機関への訪問・提携の内容と総括

・各ターゲット国でターゲット分野における日本語教育機関及び国内の県外日本語学校との提携を加速するため現地訪問、日本語教育機関との連携、熊本留学フェアでの協議を行った。

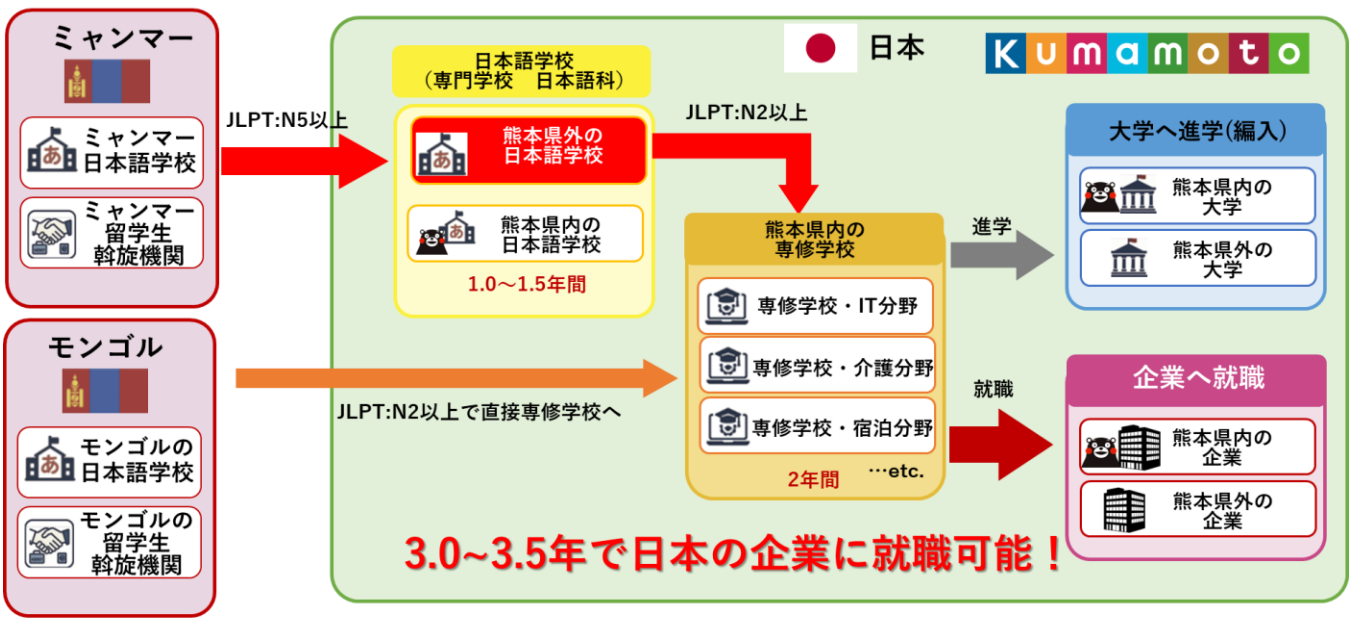
・ターゲット国：モンゴル、台湾の3か国への訪問、ミャンマーはオンライン

・ターゲット分野：IT分野、宿泊分野、介護分野に関心が高い日本語教育機関との協議

・ターゲット国：モンゴル、ミャンマーから直接留学生を受け入れて、熊本県内の専門学校　に入学するルートを提携する国内日本語学校との協議

・今年度は、モンゴル、ミャンマーの熊本フェア前に、福岡の日本語学校2校（GAG日本語学院、福岡国際学院）と具体的な提携を行い、留学生の受け入れを促進した。

■本国⇒県外日本語学校⇒県内専修学校への入学⇒県内企業への就職の流れ



・モンゴル　国内日本語教育機関３件、日本国内日本語学校　2件、　5件

・ミャンマー国内日本語教育機関３件、日本国内日本語学校　2件、　5件

、台湾　　日本語教育機関、高校、関係機関　　14件、合計22件

②ターゲット国の日本語教育機関及び国内日本語学校との提携　【モンゴル】

【モンゴル】

・日本語教育機関から既に関東、大阪の日本語学校への一定のルートが構築されているが、熊本の専門学校へ流れをつくることは十分可能である。
・今年度は、 FUJI EDU MONGOLIA が主催する日本留学フェアにて各日本語教育機関（・JOTO EDUCATION CENTER LLC、GTN Mongolia）と提携の協議をした。
・また、熊本県ブース内で福岡の日本語学校（GAG日本語学院、福岡国際学院）に同行してもらった。（2校は、自費でモンゴルの熊本フェアに同行）
・今後のモンゴルの留学生誘致に向けた募集やサポート体制の構築をおこなうことで合意した。

① FUJI EDU MONGOLIA　日本語教育センター
・担当者：日本語教育センター　Director　　ザヤー氏
・FUJI EDU MONGOLIAの紹介
・2014年設立し、2018年からは他の学校で日本語を学んでいた学生の送り出しも行っている。現在までで1000人以上の送り出し実績がある。
・書類の翻訳、履歴書の作成、申請として紹介料4万円程度（学生負担）。
・日本の日本語学校から手数料は10～15万円程度受け取っている。
・現在の在籍者数は100名程で、オンライン講座も実施。
・学生を送り出す際は、N5レベルでの送り出しが多く、N5取得は週3回3ヶ月ほどの学習で可能。
・22校(東京、名古屋、千葉、横浜、新潟など)の日本語学校へ送り出し実績がある。
・今回の日本留学フェアへ参加をきっかけに、熊本県内の日本語学校や専門学校への送り出しも前向きに行いたい。
・ザヤー氏本人も熊本県を実際に訪れた。（2025年10月）
・熊本県の自然や水の資源、東京に比べて学費が安いことや、生活環境が良いことをアピールしていくことで、留学生に選ばれる可能性もある。

【モンゴル】

② JOTO EDUCATION CENTER

・担当者：代表取締役　　浅海 善成氏

・JOTO EDUCATION CENTERの紹介

・城東日本語学校を運営しているグループ会社の出資で 2018年の8月に立ち上げた法人。

・専門学校は持っておらず、日本語学校のみ。

・メインで取り組んでいるのは、大学入学の準備教育を経て、直接大学または専門学校への入学支援に2年前から力を入れている。

・本校では、日本語のみならず、日本留学の際の大学受験に必要な専門科目まで指導している。

・主に提携している大学は、徳島大学と山梨学院大学。徳島大学では学費全額免除プログラムがモンゴルで唯一の提携校として承認されている。山梨学院大学では4名本校から送り出している。

・専門学校への直接の留学実績はまだない。

・卒業生の日本語能力の仕上がりについて、Jアカデミーであれば、国立大学を志望するのにN1レベルは必須。日本語学校に行く人は3ヶ月だけ勉強してN5を取得し留学する場合も多い。

※今回の日本留学フェアに、自校の学生を5名連れてきて、熊本ブースを訪ねてきて、意見交換、個別の入学説明を行った。

・その中に、既にＮ２の日本語能力を有して、IT分野の専門学校に直接入学したい学生も来ており、その後フォローをした結果、イデアITカレッジ阿蘇に3名が合格して、R8年度4月に入学予定となっている。

・大きな成果もでている。

【モンゴル】

③ GTN Mongolia

・担当者：CEO　B.Lkham-Yanjin氏

・メイン事業は留学コンサルティング事業。モンゴルで大学を卒業していて学士持っているエンジニアたちをメインに日本の企業に正社員として紹介も行っている。日本語教育事業にも力を入れており、日本人講師1名、モンゴル人講師1名が在籍。

・日本語教育事業では年間200名程度の学生を指導。累計300名弱の学生を日本へ送り出した実績がある。

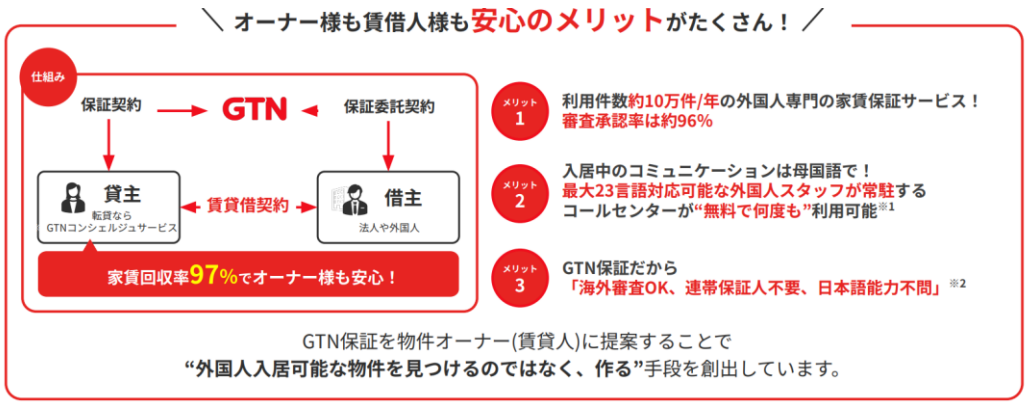
・ビザ交付は年間で30～40名程度。(本校では交付率100%)

・送り出しの際の学生の日本語能力については、N5レベル以上を必須にしている。関東圏の学校とメインで提携している。

・日本語学校への留学生の中で、日本での就職を見据えて専門分野を学ぶ方が多いのか、とりあえず日本語学校に行く方が多いのか。

―進路先によって推薦する学校を選ぶが、最近が進学を目指す学生が多い。進学を目指す中で、最初は大学進学を希望する方が多いが、留学中に専門学校へ進路変更をする場合も多い。

＊株式会社グローバルトラストネットワークス（GTN）東京本社　代表取締役社長　後藤 裕幸氏を別途訪問して、熊本県内の留学生の受入れ支援サービスについて協議する。熊本支店長　重元 哲平氏とも面談して、留学生の生活支援お中で、住宅の保証人サービス等を専門学校と連携して提供することを具体的に進めている。



【モンゴル】

④GAG日本語学院

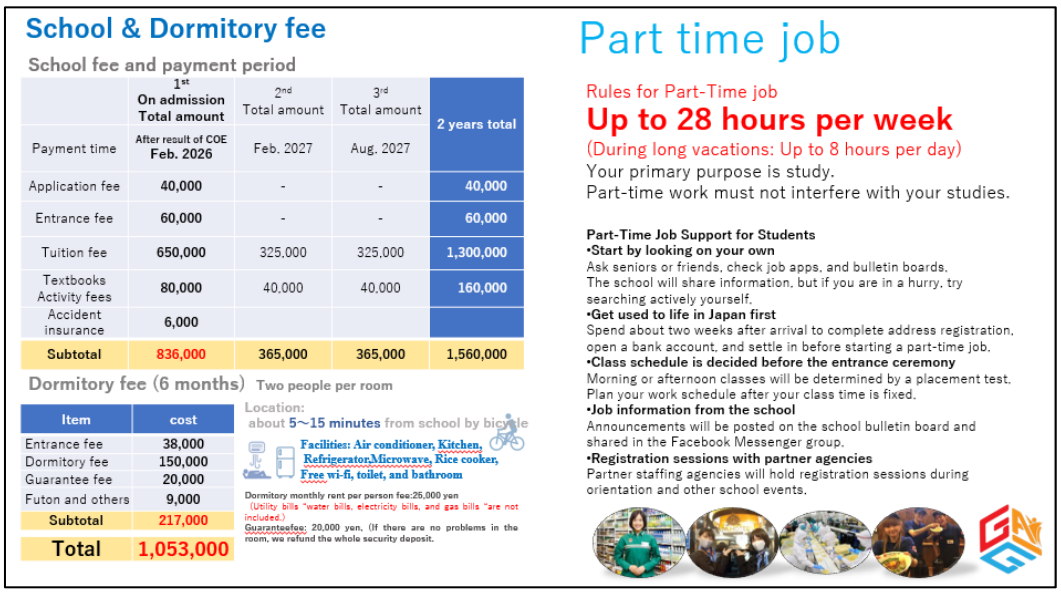
・担当者：校長　グエンズイアン氏、事務局長　坂本 重忠氏、

・所在地：福岡県福岡市博多区山王2-11-2

・今回のモンゴルでの日本語フェア、ミャンマーとのオンライン留学説明会に参加。（自費でモンゴルの熊本フェアに同行）

・モンゴルからの留学生を数名受け入れる枠をつくり、当校を卒業後に熊本県内のIT分野や宿泊分野の専門学校へ入学させる提携を行っている。

・既に、400人規模の留学生（ベトナム、ネパールなど）を受け入れているが、今後の新規国としてモンゴルを位置付けている。



School & Dormitory fee

School fee and payment period

	1st On admission Total amount	2nd Total amount	3rd Total amount	2 years total
Payment time	After result of COE Feb. 2026	Feb. 2027	Aug. 2027	
Application fee	40,000	-	-	40,000
Entrance fee	60,000	-	-	60,000
Tuition fee	650,000	325,000	325,000	1,300,000
Textbooks Activity fees	80,000	40,000	40,000	160,000
Accident insurance	6,000			
Subtotal	836,000	365,000	365,000	1,560,000

Dormitory fee (6 months) Two people per room

Item	cost
Entrance fee	38,000
Dormitory fee	150,000
Guarantee fee	20,000
Futon and others	9,000
Subtotal	217,000
Total	1,053,000

Location:
about 5~15 minutes from school by bicycle

Facilities: Air conditioner, Kitchen, Refrigerator,Microwave, Rice cooker, Free wi-fi, toilet, and bathroom

Dormitory monthly rent per person fee:26,000 yen
(Utility bills "water bills, electricity bills, and gas bills "are not included.)
Guaranteefee: 20,000 yen, (If there are no problems in the room, we refund the whole security deposit.

Part time job

Rules for Part-Time job

Up to 28 hours per week

(During long vacations: Up to 8 hours per day)

Your primary purpose is study.
Part-time work must not interfere with your studies.

Part-Time Job Support for Students

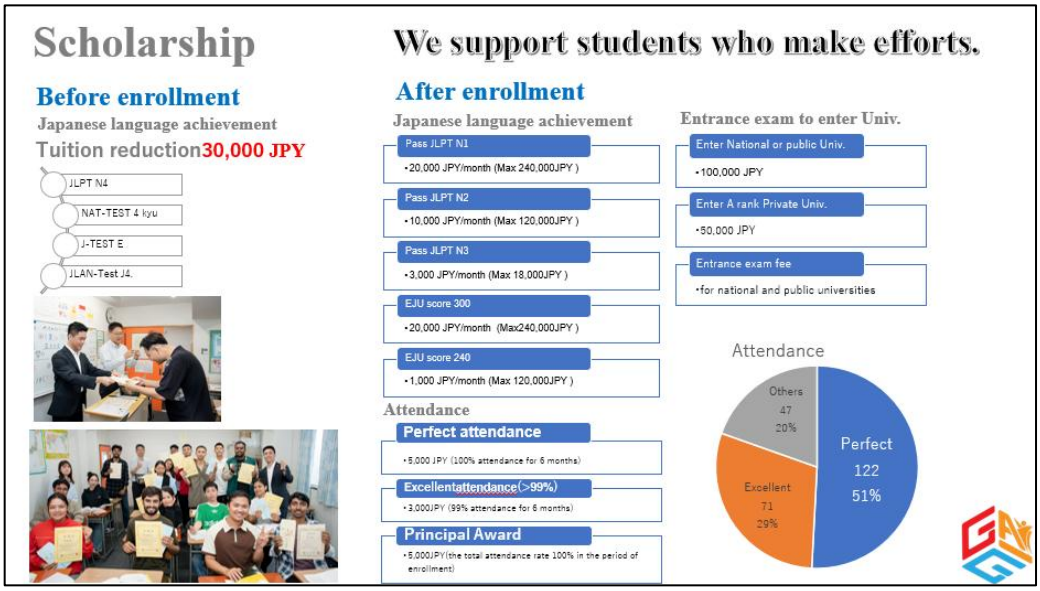
•Start by looking on your own
Ask seniors or friends, check job apps, and bulletin boards.
The school will share information, but if you are in a hurry, try searching actively yourself.

•Get used to life in Japan first
Spend about two weeks after arrival to complete address registration, open a bank account, and settle in before starting a part-time job.

•Class schedule is decided before the entrance ceremony
Morning or afternoon classes will be determined by a placement test. Plan your work schedule after your class time is fixed.

•Job information from the school
Announcements will be posted on the school bulletin board and shared in the Facebook Messenger group.

•Registration sessions with partner agencies
Partner staffing agencies will hold registration sessions during orientation and other school events.



Scholarship

We support students who make efforts.

Before enrollment

Japanese language achievement

Tuition reduction30,000 JPY

- JLPT N4
- NAT-TEST 4 kyu
- J-TEST E
- JLAN-Test J4.

After enrollment

Japanese language achievement

- Pass JLPT N1 •20,000 JPY/month (Max 240,000JPY)
- Pass JLPT N2 •10,000 JPY/month (Max 120,000JPY)
- Pass JLPT N3 •3,000 JPY/month (Max 18,000JPY)
- EJU score 300 •20,000 JPY/month (Max240,000JPY)
- EJU score 240 •1,000 JPY/month (Max 120,000JPY)

Attendance

- Perfect attendance •5,000 JPY (100% attendance for 6 months)
- Excellentattendance(>99%) •3,000JPY (99% attendance for 6 months)
- Principal Award •5,000JPY(the total attendance rate 100% in the period of enrollment)

Entrance exam to enter Univ.

- Enter National or public Univ. •100,000 JPY
- Enter A rank Private Univ. •50,000 JPY
- Entrance exam fee •for national and public universities

Attendance

【モンゴル】

⑤福岡国際学院

・担当者：マネージャー　前田和樹　氏、

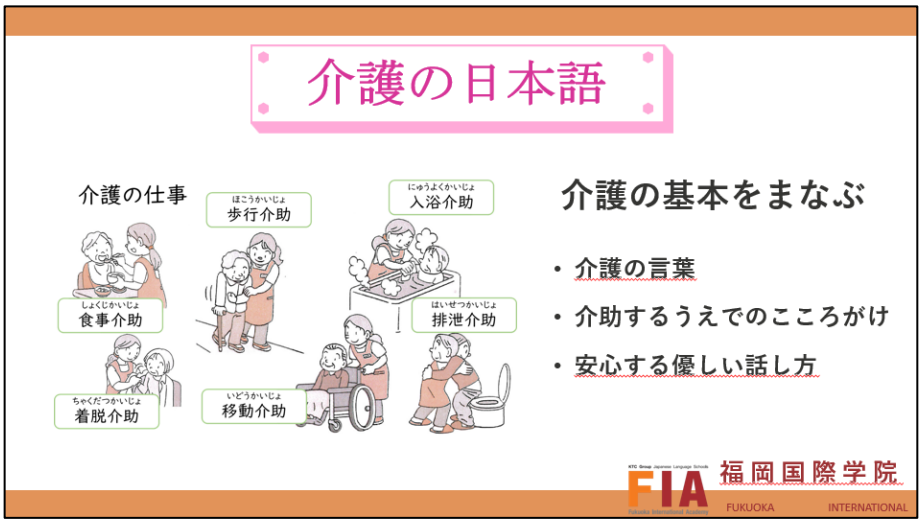
・所在地：福岡市博多区堅粕4丁目4-3

・今回のモンゴルでの日本語フェア、ミャンマーとのオンライン留学説明会に参加。（自費でモンゴルの熊本フェアに同行）

・モンゴルからの留学生を数名受け入れる枠をつくり、当校を卒業後に熊本県内の介護の専門学校へ入学させる提携を行っている。

・既に、220人の留学生（ベトナム、ネパール、ミャンマー、中国、スリランカ、ロシアなど）を受け入れているが、今後の新規国としてモンゴルを位置付けている。





②ターゲット国の日本語教育機関及び国内日本語学校との提携　【モンゴル】

【ミャンマー】

・経済的に厳しい学生が多く、奨学金等の金銭的な支援が求められている。
・国の情勢もあり、日本への留学のニーズや可能性は高い。日本語学校の教育の質の差が大きいことから、正しい情報を共有する仕組みが求められている。
・近年は特定技能から留学への在留資格変更を行うケースも出てきている。特定技能生の受け入れに対して専門学校側が慎重な姿勢であり、進学支援体制が不十分といえる。
・宿泊分野、IT分野での留学を希望する学生は多く、専門学校への受入れニーズは高い。熊本県内への留学も、地方出身の学生に生活環境を含めて理解されやすい。
・介護分野での留学を希望する学生も一定数あり、専門学校への受入れもある程度見込める。
・今年度は、政治情勢が不安定であること、2025年3月のミャンマー中部マンダレーでの地震の被害もあることから、オンラインの説明会を実施すると同時に、日本語関係機関3機関（J Compass、ZEN MIRAIミャンマー、J-SAT）と業務提携の意見交換を行った。
・今年度、ミャンマーからの出願者意向の学生が数名おり、合格内定を得た学校もあったが、諸事情で入学には至らなかった。ミャンマーにおいては、オンラインで説明会が有効であることがわかった。
・引き続き、個別に提携の日本語教育機関との協議を進めていく。

②ターゲット国の日本語教育機関及び国内日本語学校との提携　【モンゴル】

【ミャンマー】

① J Compass Edcation Co.Ltd

・担当者：代表　郡司義貴氏

・J Compass Edcation Co.,Ltdの紹介

・年間130~150人のミャンマー留学生を日本の日本語学校、専門学校、大学、高校へ紹介している。

・ミャンマー国内の日本語学校は留学エージェントとしての機能を持つ学校が少なく、多くは技能実習や特定技能をメインにしている。

・J Compassは留学生メイン業務である。

・地域別の取り組み：ヤンゴン: 以前は日本語教育を実施していたが、他校の増加や人気により学生の集中が困難。現在は活動縮小。マンダレー: 「誠」という日本語学校を3年前に設立。マンダレーの学生を中心に留学支援を実施。

・留学生ビジネスの現状と課題として、ヤンゴンにも乱立する日本語学校は技能実習や特定技能をメインとした送り出し機関としての側面が強い。

・提携先の拡大や、日本の留学制度や書類確認を理解する人材の不足が大きな課題である。

・ミャンマー、ネパール、バングラデシュの留学生はアルバイト目的や不法滞在者の増加により、入管審査が厳しくなった経緯がある。

・2019年まで東京入管での交付率は約20%である。

＊今年度のオンライン熊本留学フェアの開催の事務局を行っている。
ミャンマーの留学生の集客から個別の相談会のセット、マッチング支援を行っている。

・ミャンマーからの出願者意向の学生が数名おり、合格内定を得た学校もあったが、諸事情で入学には至らなかった。ミャンマーにおいては、オンラインで説明会が有効であることがわかった。

②ターゲット国の日本語教育機関及び国内日本語学校との提携　【モンゴル】

【ミャンマー】

① ZEN　MIRAI　ミャンマー

・担当者：代表　石原みほし氏

・ZEN　MIRAI　ミャンマーの紹介

・グループ会社の本部は岡山にあり、全未来教育の一部として運営。

・福岡、岡山、倉敷で中学生向けの学習塾を運営。

・主に留学生向けに日本の大学進学支援を実施。

・ミャンマー法人として2023年10月に登録。

・ヤンゴンの「レダセンター」に拠点を構え、周辺にヤンゴン大学・ヤンゴン外国語大学が存在。

・日本語学校が416校ある地域であり、日本語学習需要が高い。

・学生の層として、N2くらいがボリュームゾーン

・留学生向けEJU試験対策、進学コンサルティング、日本語学校への送り出し、オンライン教育の提供を行っている。

・留学生の多くは日本語能力試験（JLPT）N2レベル。

・ミャンマーの教育は暗記重視のため、日本の大学進学試験に適応が必要。

・留学を想定した特定技能生の受け入れを積極的に進めるため、学校側での審査基準の見直しが必要。特定技能生のアルバイト目的の留学を懸念する声もあるが、能力や意欲を重視する仕組みを作ることで対応可能。

＊【熊本県の魅力を高めるためのポイント・アイデア】

・東京や大阪の学校と比較して、熊本の教育の強みを明確にする必要がある。

・単発の説明会やフェアだけでなく、年間を通じたフォローアップが重要。

・熊本の留学先としての認知度向上が課題。

・岡山大学が成功したように、熊本もブランド化を図るべき。

＊J Compass と連携して、「熊本情報ワンストップセンター」を担ってもらうことを検討する。

②ターゲット国の日本語教育機関及び国内日本語学校との提携　【モンゴル】

【ミャンマー】

③ J-SAT（株式会社ジェイサット）

・担当者：マーケティングマネージャー遠藤加菜氏

・J-SATの紹介

・ミャンマーの学生には、日本語学習を始める段階でZoomを活用し、日本に行った後に問題が発生した際も継続してフォロー可能な体制を整備。

・方針として日本語教育においては、単なる知識習得ではなく、学び方や自主学習能力の養成に重点。

・学生はN5からN3レベルの日本語を11か月で習得するプログラムを受講。

・コロナ禍を契機に作成したビデオ教材を活用し、文法や漢字を自習。その後、会話練習を通じて理解を深める。

・介護人材の育成について、ミャンマー出身の人材に対し、介護現場での細かい技術指導は施設ごとに異なるため、教育範囲に限界があることから、基本的な適性確認や日本の介護文化の理解を重点においたカリキュラムを設定。

・ミャンマーに日本語学校や送り出し機関が数多くあるが、バラバラに活動しており情報の共有等がない為、J-SATはブローカー的な動きではなく一気通貫の支援を目指し、活動を展開している。

・熊本留学フェア会場候補として、以前留学フェアの会場となったサクラタワー最上階を紹介してもらう。

【ミャンマー】

④GAG日本語学院

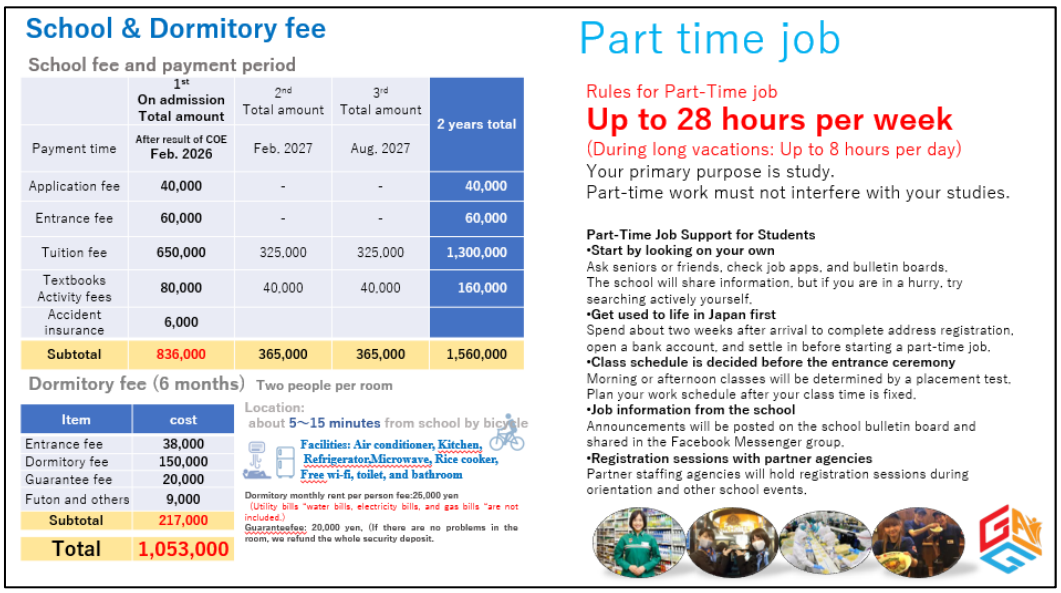
・担当者：校長　グエンズイアン氏、事務局長　坂本 重忠氏、

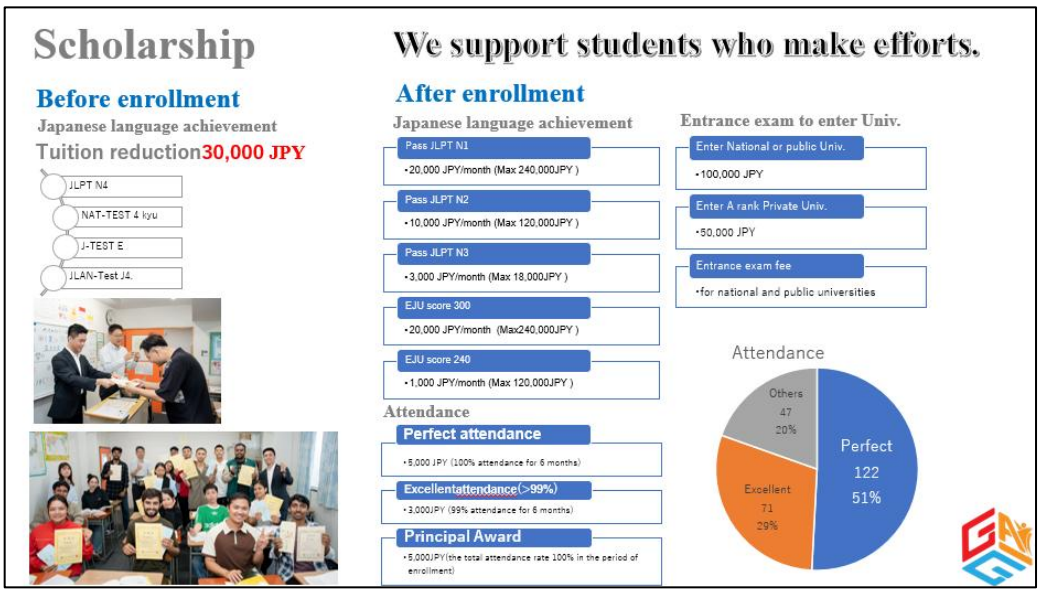
・所在地：福岡県福岡市博多区山王2-11-2

・今回のミャンマーとのオンライン留学説明会に参加。

・ミャンマーからの留学生を数名受け入れる枠をつくり、当校を卒業後に熊本県内のIT分野や宿泊分野の専門学校へ入学させる提携を行っている。

・既に、400人規模の留学生（ベトナム、ネパールなど）を受け入れているが、今後の開拓国としてミャンマーを位置付けている。





【モンゴル】

⑤福岡国際学院

・担当者：マネージャー　前田和樹　氏、

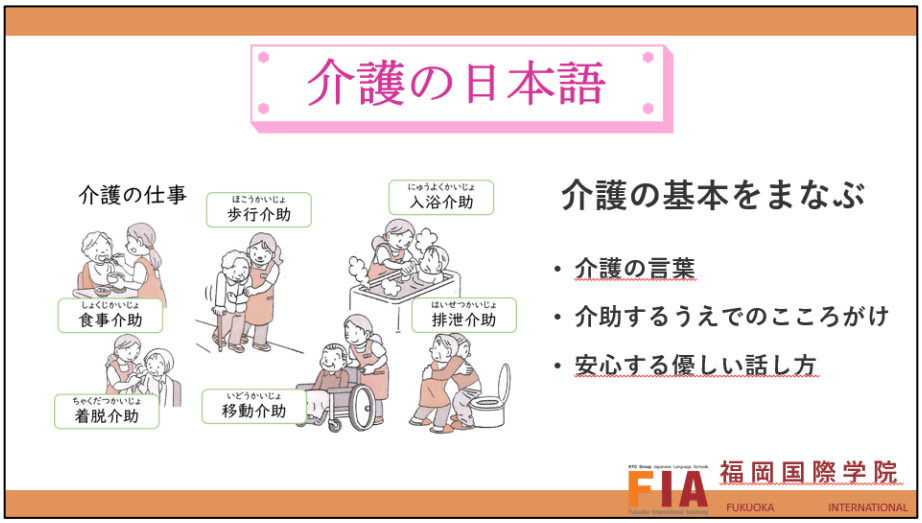
・所在地：福岡市博多区堅粕4丁目4-3

・今回のモンゴルでの日本語フェア、ミャンマーとのオンライン留学説明会に参加。（自費でモンゴルの熊本フェアに同行）

・ミャンマーからの留学生を数名受け入れる枠をつくり、当校を卒業後に熊本県内の介護の専門学校へ入学させる提携を行っている。

・既に、220人の留学生（ベトナム、ネパール、ミャンマー、中国、スリランカ、ロシアなど）を受け入れているが、ミャンマーを強化国として位置付けている。





【台湾】

・台湾　日学館留学センター、高雄市立六亀高級中学を含む　14機関

・台湾については、遊学・短期プログラムを行いたい現地の高校をターゲットとして、フェアへの参加や高校訪問、情報発信をおこなった。

・遊学・短期プログラムについては、反響も良く、今年度の実施への手ごたえを感じた。

・台湾では、TSMCの影響で、熊本に対する認知度は格段に上がっていた。旅行者を含めてビジネス・交流機会はますます増えるので、遊学・短期プログラムについても高評価であった。

■台湾への訪問

【訪問先及び連携学校】

No.	訪問日時	訪問先
1	9月18日	日学館留学センター
2	9月19日	僑泰高級中学
3	9月19日	東禾国際外語学校
4	9月19日	UF JAPAN日本留学中心
5	9月20日	2025日本留学フェア（台湾）
6	10月29日	永平高級中学訪問
7	10月29日	国立中科実験高校
8	10月29日	静宜大学
9	10月30日	私立新民高校
10	10月30日	東禾国際外語学校
11	10月31日	高雄市立六亀高級中学訪問
12	10月31日	高雄市立左営高級中学訪問
13	10月31日	高雄市立林園高中訪問
14	11月1日	日学館

【本事業　委員】

氏名	所属	役職
木庭順子	一般社団法人 熊本県専修学校各種学校連合会	会長
	学校法人 熊本壺溪塾学園	理事長
竹島加奈子	一般社団法人 熊本県専修学校各種学校連合会	委員
	学校法人 熊本壺溪塾学園	企画本部長
鋤崎麻里	一般社団法人 熊本県専修学校各種学校連合会	事務局

【台湾訪問①2025年9月18日～21日】

日付	時間	訪問先・内容
9/18（木）	9:55	熊本空港到着
	11:55→13:20	熊本→桃園空港
	13:20→14:20	桃園空港入国・両替等
	14:20→15:00	桃園空港→シーザーパーク台北
	16:00	日學館留學中心訪問
9/19（金）	7:50	ホテル出発
	08:30→09:18	台北駅→台中駅
	09:18→09:40	台中駅→僑泰高校
	09:40→11:10	僑泰高校訪問
	11:10→11:30	僑泰高校→東禾国際外語学校
	13:00→14:00	東禾国際外語学校訪問
	14:00→14:30	東禾国際外語学校→台中駅
	14:41→15:30	台中駅→台北駅
	15:30→16:00	台北駅→UF JAPAN
	16:00→17:00	UF JAPAN訪問
	17:00→ホテル	移動
9/20（土）	9:45	ホテル出発
	11:00→16:00	日本留学フェア
	16:00以降	留学フェア
9/21（日）	11:40	ホテル出発
	12:30	桃園空港到着
	14:30→17:40	桃園空港→熊本

【台湾訪問①2025年9月18日～21日】

■議事録

【日学館留学センター 訪問議事録】

日時：２０２５年9月１８日 １６：００～
場所：日学館留学センター
訪問先担当者：日学館留学センター　センター長　張立綺氏
日学館留学センター　海外事業部日本担当　吉田智裕氏

【短期の留学について日学館側の意見】
・前後の日程は自由に組み合わせ出来るようにしたほうがいいのでは。自由度が高いほうが人気がある。
・親の参加も可となっているが、河合塾の短期留学には親は一人も参加しなかった。ただ帰ってきたときに何をしたのか報告しやすいように何か形に残るものの手作り体験等があるといい。

【今後の契約等について】
・契約書は日本式でOK
・４日間の詳細スケジュール、募集要項、申込要項等の書類整備
・一人当たりのマージンを決め、支払いとなる。
・募集に関してはリーフレットデータを送付し、最終的な打ち合わせはメールでのやり取りとなる。
・１０月再度訪問の約束
・１０月下旬までにリーフレット作成、１１月から１２月末まで募集予定

最後に熊本の専門学校についても紹介。台湾は学歴主義と思っていたが、大学と並行して専門学校を視野に入れている生徒も多いとのこと。人気の分野はITや美容、ファッションデザイン、建築等。

【僑泰高級中学 訪問議事録】

日時：２０２５年9月１９日 ０９：４０～
場所：僑泰高級中学
訪問先担当者：僑泰高級中学　応用英日語科主任　陳正哲氏

【短期の留学について僑泰高級中学の意見】
・来年の夏の募集に関して、生徒は7月・8月2か月間休みがあるが、生徒によっては7月末までは補習や課外等があり、7月下旬からの休みになると思う。教師は8月10日あたりから8月17日ぐらいが休みになると思う。その期間が動きやすいのでは。
・2月だと高校3年生の参加は厳しいのでは。普通科の生徒の進路は1月に決まり、卒業が6月となる。就職の生徒は5月に決まり6月卒業のスケジュール。

【今後の募集について】
・パンフレットデータをメールで送る。
・学校ホームページへ掲載し、募集してくれるとのこと。
・１０月再度訪問の約束
・１０月下旬までにリーフレット作成、１１月から１２月末まで募集予定

最後に熊本の専門学校についても紹介。熊専各のパンフレットにて会員の学校の紹介。日本語コースを持っている学校が少ないので、現地で日本語コースを持っている学校の協力が必須であること等の説明。

【台湾訪問①2025年9月18日～21日】

■議事録

【東禾国際外語学校 訪問議事録】

日時：２０２５年9月１９日 １３：００～
場所：東禾国際外語学校
訪問先担当者：東禾国際外語学校　日本留学センターセンター長　三藤正幸氏

【短期の留学について東禾国際外語学校の意見】
・個人的には長すぎてもあまり集まらないと思う。伸ばしても1日ではないか。
・解散後の選択肢があれば参加しやすいのではないか。
・時期によるが旧正月前後は航空券が高いのが気になる。応募が開催間際になると飛行機代が高くなるのがネック。熊本台湾間の飛行機が割と金額が高いのが気になる。そこがクリアできれば応募する家庭も増えると思う。

【今後の募集について】
・一人当たりのマージン決めて契約
・旅行会社を入れるか入れないか、今後旅行会社と要相談
・申込用紙は壺溪塾で作成
・直接申し込みがいいのか、東禾国際外語学校へ申込してもらうかの決定
・参加者の質問、疑問の窓口になっていただきたい。
・台中の申込者に関しては東禾さんへお願いしたい
・科技大学の紹介を受ける

最後に熊本の専門学校についても紹介。熊専各のパンフレットにて会員の学校の紹介。
20日に行われる日本留学フェアへ参加することを報告。

【UF JAPAN日本留学中心 訪問議事録】

日時：２０２５年9月１９日 １６：００～
場所：UF JAPAN日本留学中心
参加者：UF JAPAN日本留学中心　執行張　CEO　陳貞聿氏
　　UF JAPAN日本留学中心　留学事業部　　盧怡安氏

【短期の留学について　UF JAPANの意見】
・短期留学は日本語レッスンができるか。
・台湾の学校の短期留学、研究旅行は教育局への登録が必要となる。そのようなツアーをする場合は保護者ではなく教師が同行する通訳もつれてくる。

【今後について】
・ベジタリアンの高校については別途個別で進める
・7月11日から22日で予定している
・人数は募集してみないとわからない20名程度を予定している
・契約についてはメールにて細かく決めていく

また熊専各が行っている専修学校の国際化推進事業についても再度案内。会員校の紹介や何が学べるのか、等の説明も行う。
また今回の企画が成功すればもっと深い交流ができる。今後はメールにてやり取りになるが、また訪台した時は尋ねる約束を取り付ける。

【台湾訪問②2025年10月28日～11月2日】

■行程表

日付	時間	訪問先・内容
10/28(火)	19:30～22:45	成田→台北桃園空港
	22:45～	台北桃園空港→ホテル 移動
10/29(水)	8:30～	ホテル出発
	9:30～10:30	永平高級中学訪問
	11:00～11:30	台北駅へ移動
	11:46～13:15	台北→台中
	13:20～14:00	台中駅→国立中科実験高校
	14:00～15:00	国立中科実験高校
	15:20～16:00	国立中科実験高校→静宜大学 移動
	16:30～17:00	静宜大学
10/30(木)	9:20～9:40	ホテル→私立新民高校 移動
	10:00～11:30	私立新民高校
	11:30～12:00	新民高校→東禾国際外語学校 移動
	12:00～12:30	東禾国際外語学校
	12:40～13:00	東禾国際外語学校→ホテル 移動
	13:10～13:30	ホテル→台中駅 移動
	13:48～14:45	台中→左営 移動
	14:50～15:20	左営→和逸飯店ホテル 移動
	16:00 ～16:30	熊本県高雄アドバイザー訪問
10/31(金)	7:30～	ホテル→六亀 移動
	9:30～10:30	高雄市立六亀高級中学
	11:00～13:40	六亀高級中学→昼食→左営高校 移動
	14:00～15:00	高雄市立左営高級中学
	15:10～15:50	左営→林園高校 移動
	16:00～17:00	高雄市立林園高中学
	17:10～17:50	林園→ホテル 移動
11/1(土)	9:30～	ホテル→JPTIP 移動
	10:00～11:00	JPTIP 高雄
	11:00～11:30	JPTIP→左営駅 移動
	11:55～13:29	左営→台北移動
	14:00～15:00	日学館　説明会
11/2(日)	9:00～10:00	日学館　訪問
	14:30～17:30	台北桃園国際空港 →熊本空港

【台湾訪問②2025年10月28日～11月2日】

■議事録

【國立中科實驗高級中學 訪問議事録】

日時：２０２５年１０月２９日 １４：００～１５：００
場所：國立中科實驗高級中學
訪問先担当者：國立中科實驗高級中學　校長　秦文智氏
　　國立中科實驗高級中學　秘書　陳子珺氏

【熊本の高校・大学の状況とTSMC進出による変化】
熊本高校・熊本大学・崇城大学を中心に、日本側の進学環境とTSMC進出による学部新設・人気高騰などの最新状況を共有した。

【短期の留学について】
竹島より短期遊学造成に関する経緯、及び企画内容について説明

【今後の連携・フォローアップ】
◆今後の連携
熊本県議会の訪問予定や、教員・生徒の今後の往来可能性など、長期的な連携イメージを共有。
11月12日、熊本県議会の教育文化委員会所属議員18名が国立中科実験高校を視察予定であることを学校側が報告。
→科学教育への関心や、熊本からの帰国生徒との懇談を希望している旨を共有。
壺渓塾側としても、「熊本に来てもらう」「熊本から行く」の双方の流れを作り、相互交流を継続したい意向を表明。
◆夏期の別プログラム
今回の2月プログラムとは別に、夏期により長期の短期講座（日本語＋進学準備）を企画予定であることを壺渓塾側から説明。
日程・内容は未定だが、詳細が固まり次第、改めて情報共有することで合意。2月プログラムの実施状況を踏まえ、翌年度以降の夏期プログラムやさらなる連携（長期留学・進学コース等）について、国立中科実験高校と壺渓塾で継続協議する。

【台湾訪問②2025年10月28日～11月2日】

■議事録

【靜宜大學 訪問議事録】

日時：２０２５年１０月２９日 １６：３０～１７：００
場所：靜宜大學
訪問先担当者：全球事務顧問國際暨兩岸事務處 境外學生顧問
外語學院 日本語文學系 副教授
博士（経済学・教育学） 桂田　愛氏

【靜宜大學の概要】
◆学生サポート
◎留学生支援
担任制と国際担任（留学生専任）により生活・学修支援が厚い。
学科・XR/VR/AR・食品栄養学科等の専門ラボ。

◎語学プログラム（中韓・All English）と学費支援
・高校卒業～大学入学前の「集中中国語コース」：約6か月、12万元（相場レートで50～60万円前後）。
・当該コース修了＋語学テスト合格で、1年目学費が奨学金で実質無料。2年目以降も成績により奨学金あり。
・韓国政府認可の語学センター保有。
・欧米志向者にはAll English（AI・半導体連携科目含む）を選択可能。

【壺溪塾提案の短期遊学についての企画紹介】
竹島より短期遊学造成に関する経緯、及び企画内容について説明

【決済・手数料・現地通貨対応について】
小額での海外送金は手数料負担が相対的に大きい。学生利便・会計透明性の両立が課題。
・海外送金は受取側で約1,500円/件想定＋中継銀行不確定。
・原則は日本円（肥後銀行）振込推奨。ただし台湾元の現地取扱いの要望も強い。
・まとめ入金・現金受領・国内一時振替（帰国時）等のオプションを検討する必要がある。

【台湾訪問②2025年10月28日～11月2日】

■議事録

【新民高級中學 訪問議事録】

日時：２０２５年１０月２９日 １６：３０～１７：００
場所：新民高級中學
訪問先担当者：
新民高級中學　日師召集人（日本語教師関連のリーダー的役割）　佐佐木陽太氏
新民高級中學　外語中心主任（外国語センター主任）　黄俊銘氏

【専修学校の国際化推進事業に関する説明】
木庭氏より挨拶および事業、熊専各についての説明

【短期の留学について】
◆親民側の内部スケジュール
・2025年11月～12月上旬
→校内向け案内・募集開始（日本語学科を軸に全校へ告知）。
・2025年12月上旬
→参加希望人数を壺渓塾へ連絡（目安10名／最低5名）。
・他校からの申込状況により、壺渓塾から「満席の可能性」等あれば早めに情報共有を受ける。

◆今後の継続見通し
・本企画は補助事業としてあと2年間（来年度・再来年度）継続予定。
・2月モニターツアー参加者の満足度が高ければ、次年度夏の長期版プログラムに別学年・別生徒が参加する形も想定。
・2月に参加できなかったが関心のある生徒には、「翌夏以降のプログラム」に案内を継続する。

【今後のアクション】
◆壺渓塾側
・日本語・中国語版の案内資料および熊本県PR資料を提供済み。
・追加の質問にはメールで迅速に対応。
・参加希望人数の報告（12月上旬予定）を受けて、
・他校との枠調整・最終スケジュール確定を進める。
・次年度夏以降の長期プログラム（7月～）の企画を検討継続。

◆親民側
・日本語学科を中心に、全校生徒へ今回のプログラムを紹介。
・募集目標を10名 とし、11～12月上旬を中心に募集活動を実施。
・参加希望者・保護者向けに学校内で説明会を実施し、質問事項は取りまとめた上で壺渓塾へ照会。
・参加確定後：
①4万円／人の参加費の取りまとめと壺渓塾への送金。
②各家庭と連携し、航空券手配をサポート。
③引率教員（佐々木先生）の同行可否を最終決定。

【台湾訪問②2025年10月28日～11月2日】

■議事録

【東禾国際外語学校 訪問議事録】

日時：２０２５年１０月３０日 １６：３０～１７：００
場所：東禾国際外語学校
参加者：東禾国際外語学校　日本留学センターセンター長　三藤正幸氏

【学校概要・協力体制の確認】
（木庭氏より挨拶および事業、熊専各についての説明

【壺溪塾提案の短期遊学についての企画紹介】
竹島より短期遊学造成に関する経緯、及び企画内容について説明

【スケジュール・締切・今後の見通し】
◆台湾側の内部スケジュール
・2025年11月～12月上旬
→校内向け案内・募集開始（日本語学科を軸に全校へ告知）。
・2025年12月上旬
→参加希望人数を壺溪塾へ連絡（目安10名／最低5名）。
・他校からの申込状況により、壺溪塾から「満席の可能性」等あれば早めに情報共有を受
ける。
◆今後の継続見通し
・本企画は補助事業としてあと2年間（来年度・再来年度）継続予定。
・2月モニターツアー参加者の満足度が高ければ、次年度夏の長期版プログラムに別学
年・別生徒が参加する形も想定。
・2月に参加できなかったが関心のある生徒には、「翌夏以降のプログラム」に案内を継続
する。

【語学・通訳・今後の教育連携について】
・熊本では台湾語・中国語対応の通訳が少なく、毎回確保に苦労。
・TSMC関連企業進出で中国語学習需要が上昇中。
・台湾大学進学希望者も出始めており、関連コースの構想を提案。
・東禾側では中国語・韓国語・仏語・伊語を開講中でオンライン授業体制あり。

【台湾訪問②2025年10月28日～11月2日】

■議事録

【高雄市立六亀高級中学 訪問議事録】

日時：２０２５年１０月３１日 ９：３０～１０：３０
場所：高雄市立六亀高級中学
参加者：

六亀高級中学	校長	楊茂青氏
六亀高級中学	新修部主任	葉淑燕氏
六亀高級中学	図書館主任	陳冠延氏
六亀高級中学	教学組長	張郁晨氏
六亀高級中学	教師	干珮婷氏
六亀高級中学	総務主任	呉郁銘氏
六亀高級中学	教師	羅尹蔚氏
六亀高級中学	教師	古佳鑫氏
六亀高級中学	教師	盧佳吟氏

【専修学校の国際化推進事業に関する説明】
木庭氏より挨拶および事業、熊専各についての説明

【壺溪塾提案の短期遊学についての企画紹介】
竹島より短期遊学造成に関する経緯、及び企画内容について説明

◆情報共有・要望
今回の短期留学プログラムは、単なる観光ではなく、「熊本への中長期留学・進学につなげるための入口企画」である点を理解。
・特に台湾はTSMC 熊本工場進出により、駐在家族・台湾人居住者が増えており、対象国として重視されていることを確認。

【今後のアクション】
台湾側（A）
•生徒への説明会実施
•参加希望者の事前アンケート（食事・健康・アレルギー）
•20名以上の取りまとめ
•教員・同行者リストの整理
•2月・夏どちらを優先するかの校内意見集約
•2027年2月の実施希望時の人数予測
日本側（B）
•大学（熊大・崇城大）との見学枠調整
•阿蘇・県庁・TSMC周辺など各訪問先の最終調整
•青少年交流の家との連携
•食事制限に対応した献立の見直し
•夏プログラムの正式版パンフレット作成
•申込窓口対応（メール・銀行情報の共有）

【台湾訪問②2025年10月28日～11月2日】

■議事録

【左営高級中学 訪問議事録】

日時：２０２５年１０月３１日 １４：００～１５：００
場所：左営高級中学
訪問先担当者：左営高級中学　校長　　林百鴻氏
　　六亀高級中学　教務主任　陳彦誠氏

【専修学校の国際化推進事業に関する説明】
木庭氏より挨拶および事業、熊専各についての説明

【壺溪塾提案の短期遊学についての企画紹介】
竹島より短期遊学造成に関する経緯、及び企画内容について説明

◆夏の長期プログラム（11日間モデル）
・日本語集中講座を中心に構成。
・体験内容
　o日本語講座比重を増やした構成
　o熊本の自然・文化体験
　o大学・専門学校見学
　o他国からの要望を参考に「そうめん流し」などの体験も組み込み可能。
・学校側の事情に応じて日程カスタマイズ可能。
・高校ごとに団体単位での申し込みも歓迎。

◆申込単位・引率教員・参加継続可能性
（台湾側）
・これまでも香港・アメリカ・韓国・ベトナムなど多数の海外交流プログラムを実施し、毎回多くの生徒が参加。
・短期留学を「この学校単独」で実施する場合には、必ず教員が同行する必要があるとの認識。
・参加生徒が多数になる可能性もあるため、予算枠・定員の上限について早めに情報が欲しいとの要望。

【航空券の問題と2月参加の現実性】
（台湾側）懸念点
・プログラム自体は魅力的だが、
　o旧正月前で航空券が極めて取りづらい・高額
　o11月時点では、旅行会社がグループ向けのチケットをほぼ押さえていると想定。
・「料金を払えても、そもそも航空券が取れない可能性」が高いのが最大のネック。
・家庭側も旧正月前後の時期は既に家族旅行等の予定を入れている場合が多い
・結論として、2026年2月の参加は現実的にはかなり難しいとの見解。

【台湾訪問②2025年10月28日～11月2日】

■議事録

【左営高級中学 訪問議事録】

【来年5月の訪日・7月プログラムへの接続】
A（台湾側）
•来年5月に既に日本訪問の予定（姉妹校訪問）があり、生徒＋PTA＋教員で約40名規模になる見込み。その際、熊本（玉名・仙台方面が中心との情報）だけでなく、可能であれば熊本大学や崇城大学等も視察したい意向を表明。
•ただし40名規模をそのまま大学に連れて行くのは現実的でないことは理解しており、校長・担当教員数名での視察形式も検討可能とした。
B（日本側）
•大学側の受け入れキャパシティを考えると、5月訪問時は校長・担当教員数名程度に絞っての大学訪問が現実的。
•5月に大学訪問・担当者面談 →その結果を踏まえて 7月プログラムの正式設計・日程決定 を行う流れを提案。
•7月プログラムを実施するには、少なくとも 3か月前には人数・日程を確定 しておく必要があり、4月頃までに最終判断いただけると大学調整がスムーズであることを説明。

【今後のタスクについて】
台湾側（A）
•校内で今回の説明内容を共有（特に国際交流担当教員への詳細引き継ぎ）。
•保護者・生徒への「興味度アンケート」実施（2月／7月／複数年の希望など）。
•2026年5月訪日の詳細日程（訪問先・人数）を年内～年明けまでに整理。
•5月訪日の際、熊本大学・崇城大学訪問の優先順位付け。
•7月プログラムに参加する場合の「候補人数」と「希望日数」のたたき台を作成。
日本側（B）
•夏季モデルプログラム案（11日・短縮版など）のバリエーションを作成し、提案資料として準備。
•崇城大学理事長との連絡・面談可能日程の確認。
•5月訪日に合わせた大学訪問プラン（少人数用）を作成。
•国の補助枠のうち、本校向けにどの程度割り当てが可能か、内部試算を進める。
•航空便（特にタイガーエア・チャイナエアライン）の運航状況をフォローし、適切な時期に情報提供。

【台湾訪問②2025年10月28日～11月2日】

■議事録

【高雄市立林園高級中學 訪問議事録】

日時：２０２５年１０月３１日 １４：００～１５：００
場所：林園高級中學
参加者：林園高級中學　校長　　陳冠璋氏
　　林園高級中學　家長会会長　成定瑜氏

【専修学校の国際化推進事業に関する説明】
木庭氏より挨拶および事業、熊専各についての説明

【壺溪塾提案の短期遊学についての企画紹介】
竹島より短期遊学造成に関する経緯、及び企画内容について説明

【質問・要望・意見交換】
・内容はこれからだと思うが、北高校との交流を組み込んだ構成に調整することは可能でしょうか？　可能であれば姉妹校との交流も盛り込みたい。
　→北高サイドも希望する可能性も高い為、北高サイドとの調整協議が必要（要確認）
・学校単位で申し込みは可能か？
　→可能
・高校単位で参加する場合、先生も同行してもらえると助かるが可能か？（木庭）
　→可能。熊本の銀行への訪問事例あり
・毎年、国際交流旅行は行っている。これから進学や就職を併せて学ぶことができる点は渡りに船。
・航空券の手配について、壺溪塾でおこなったほうがよいか？
　→公立校である為、相見積もりを経て、やり取りをおこなう必要がある。

【今後のタスクについて】
台湾側（A）
・校内で今回の説明内容を共有（特に国際交流担当教員への詳細引き継ぎ）。
・保護者・生徒への「興味度アンケート」実施（2月／7月／複数年の希望など）。
・来年7月プログラムに参加する場合の「候補人数」と「希望日数」のたたき台を作成。

日本側（B）
・夏季モデルプログラム案（11日・短縮版など）のバリエーションを作成し、提案資料として準備。
・崇城大学理事長との連絡・面談可能日程の確認。
・７月プログラムに合わせた大学訪問プラン（少人数用）を作成。
・航空便（特にタイガーエア・チャイナエアライン）の運航状況をフォローし、適切な時期に情報提供。

■【ターゲット国の訪問　台湾】

【訪問先からの主な意見】

・阿蘇での雪体験、熊本大／崇城大の見学、EJU/日本語対策（習熟度別対応）の体験要素を含む点が各校で高評価。
・学校によっては国際交流プログラムを行っているところもあるため、年次の取り組みに組み込むことで、連携がしやすい。
・補助事業の一環であり、モニターとして恒常的に運用することは難しいと思うが、魅力的な内容と価格となっている。
・プログラム前の前泊や終了後の延泊、他都市への移動も可能な点が魅力。

【主な課題及び懸念点】

・２月の時期は旧正月の時期に重なることから、航空券が高額、または取れないケースも考えられるため、夏のプログラムも併せて推していく必要がある。
・高校生中心に据えつつ、大学生・既卒の「試験導入」をどう取り扱うか今後も要検討
・安全管理（未成年）の同伴・合流条件、保険適用の境界について確認・規定の設定が必要。
・申込導線（学校経由／個人申込）、デジタル連絡（LINE／フォーム）、問い合わせ一次窓口の統一が必要。
・小額での海外送金は手数料負担が相対的に大きいため、支払い・入金方法に関しては引き続き調整が必要。

■【ターゲット国の訪問　台湾】























③ターゲット国内でのワンストップ情報センターの設置

③ターゲット国内でのワンストップ情報センターの設置

・熊本県における留学・就職情報、奨学金等の補助に関する情報に触れることができるワンストップ情報センターを3か国に設置した。
・単発の熊本県留学フェア・説明会の告知だけではなく、常時、熊本への留学相談や就職等の相談の窓口と合わせて、情報発信の拠点としていく。
・併せて、熊本県との連携を図り、相談窓口を設け、留学から就職までの一貫したサポート体制を構築した。
・モンゴル：現地日本留学フェアにて熊本ブースを特設で設置いただいたFUJI EDU MONGOLIA。
・ミャンマー：オンライン熊本説明会を開催した J Compass Edcation 。
・台湾：今年度の訪問で、台湾人留学生向け短期滞在受け入れモニターの募集・情報発信を行った日学館、UF JAPAN、東禾外国語学校の3箇所。

【モンゴル】

◆FUJI EDU MONGOLIAと連携し、熊本県の留学に関する情報に触れることができる窓口を設置。また、モンゴル国内でのテレビ放送にて、本事業の趣旨、熊本県への留学生誘致に向けた情報を発信している。
・2025年9月～2026年2月
◆NTV (Mongolian TV channel)







③ターゲット国内でのワンストップ情報センターの設置

【台湾】

・台湾への訪問と連携強化で日学館、UF JAPAN、東禾外国語学校の3箇所でワンストップ情報センターを設置した。

・2025年9月～2026年2月

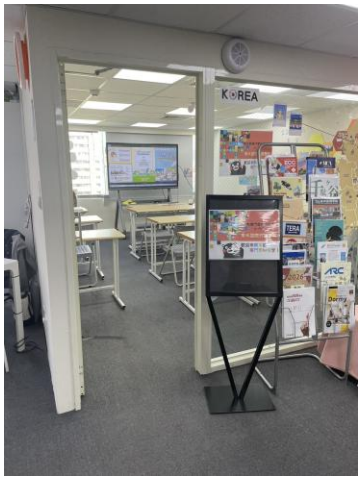
▼日学館



▼UF JAPAN



東禾外国語学校▶

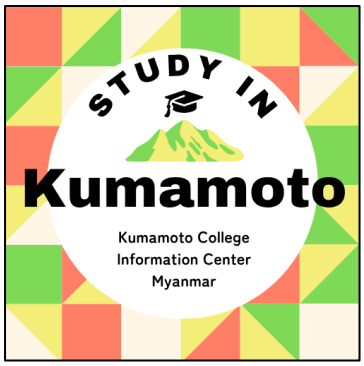


【ミャンマー】

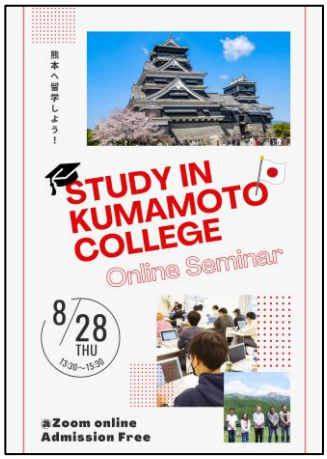
J Compass Edcationに熊本県の留学に関する情報に触れることができる窓口を設置するとともに、FBページも併せて立ち上げ、情報発信の基盤を整備した。

◆ミャンマー熊本県情報センターのロゴ

Study in Kumamoto College
Information Center Myanmar

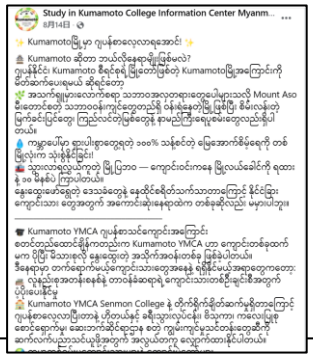


◆チラシの作成



◆現地でのFB投稿







④台湾人留学生向け短期滞在受け入れモニター実施業務

④台湾人留学生向け短期滞在受け入れモニター実施業務

【台湾人留学生向け短期滞在受け入れモニターの実施】

台湾人留学生を対象とした、遊学(短期プログラム)プログラムの実施に向け、モニターとして検証・実施した。

■実施概要

・実施期間：2026年2月4日(水)～7日(土)
・参加者：台湾の高校生14名
・内容：学校見学、進学説明会、熊本観光&文化&自然体験、専門学校生との交流イベント

■行程

2026/2/4(水)

時間	予定	場所
9:35	坪井本校出発	壺溪塾坪井本校
10:35	劉姉＆弟　到着	阿蘇くまもと空港
11:30	新民高校　ホテル迎え→坪井本校へ	ホテルマイステイズ熊本
11:00	慮さん壺溪塾到着	壺溪塾坪井本校
	劉姉＆弟ホテルに荷物置く	ホテルマイステイズ熊本
12:00	坪井本校到着予定	壺溪塾坪井本校
	昼食	
13:00	オリエンテーション、自己紹介	壺溪塾坪井本校
	熊本の専門学校紹介	壺溪塾坪井本校
13:40	日本語講座	壺溪塾坪井本校
15:00	坪井本校出発	壺溪塾坪井本校
15:30	熊本城周遊、加藤神社着参拝	
	城彩苑着	城彩苑
	バス坪井本校戻り	
17:00	ワクワク座　熊本城VR（10分）	城彩苑
18:00	夕食(21名)	ビュッフェレストランぎんなん
	徒歩移動でホテルへ	
20:00	ホテル　宿泊	ホテルマイステイズ熊本

④台湾人留学生向け短期滞在受け入れモニター実施業務

【台湾人留学生向け短期滞在受け入れモニターの実施】

■行程

2026/2/5(木)

時間	予定	場所
	朝食	ホテルマイステイズ熊本
9:30	ホテル出発	ホテルマイステイズ熊本
10:00	大学見学	崇城大学
11:30	昼食(26名)	崇城大学
13:00	大学出発	崇城大学
13:30	大学見学	熊本大学
15:00	大学出発	熊本大学
15:30	熊本県庁着・ルフィ像見学・写真撮影	熊本県庁
16:00	県庁職員による説明	熊本県庁
16:30	県庁出発	熊本県庁
17:00	ホテルへ	
	バス坪井本校戻り	壺溪塾坪井本校
17:00~	自由行動	街中周辺
19:00	夕食(21名)	牛しゃぶ牛すき　担馬屋
	ホテル　徒歩移動	
	ホテル　宿泊	

④台湾人留学生向け短期滞在受け入れモニター実施業務

【台湾人留学生向け短期滞在受け入れモニターの実施】

■行程

2026/2/6(金)

時間	予定	場所
	朝食	ホテルマイステイズ熊本
9:30	ホテル出発	
10:00 10:30	工場周辺見学	TSMC周辺
	トイレ休憩	道の駅大津
12:00	昼食(21名)	ASO MILK FACTORY
13:30	ASO MILK FACTORY出発	
14:00	阿蘇青少年交流の家到着	阿蘇青少年交流の家
	オリエンテーション	阿蘇青少年交流の家
15:10	阿蘇神社へ出発	阿蘇神社
	バス坪井本校戻り	阿蘇青少年交流の家
	アクティビティなど	阿蘇青少年交流の家
18:00	夕食、アンケート記入	阿蘇青少年交流の家

2026/2/7(土)

時間	予定	場所
7:30	朝食	阿蘇青少年自然の家
8:10	盧さん空港へ出発	阿蘇くまもと空港
9:00	ホテルへ出発	ホテルマイステイズ熊本
10:30	ホテル→熊本駅	

【アンケートの実施】

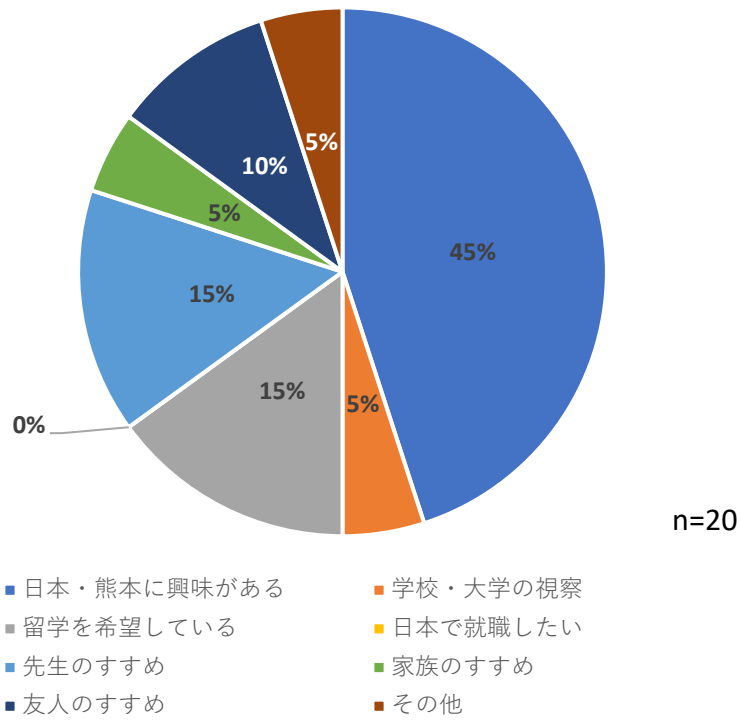
（１）アンケート実施概要

本アンケートは、熊本県専修学校各種学校連合会主催、学校法人熊本壺溪塾学園が実施した「熊本短期交流計画」に参加した台湾の高校生等 14 名を対象として行われた。プログラム内容への満足度や評価、費用・実施時期・期間の妥当性、熊本留学・進学への関心、ならびに今後の情報提供・プログラム設計に関するニーズを把握し、将来の事業改善および留学促進に役立てることを目的とする。
設問は、「参加の動機」「プログラムへの評価」「費用・時期・期間」「熊本留学・進学意向」「情報提供・今後のプログラム」などから構成され、選択式設問（単一・複数回答）に加え、自由記述も含まれている。

【熊本短期交流計画プログラム実施期間】2026年2月4日～7日
【アンケート回答者数】14名

（２）アンケート集計

① 参加のきっかけ・動機
1. なぜ熊本短期交流計画に参加しようと思いましたか？（複数選択可）



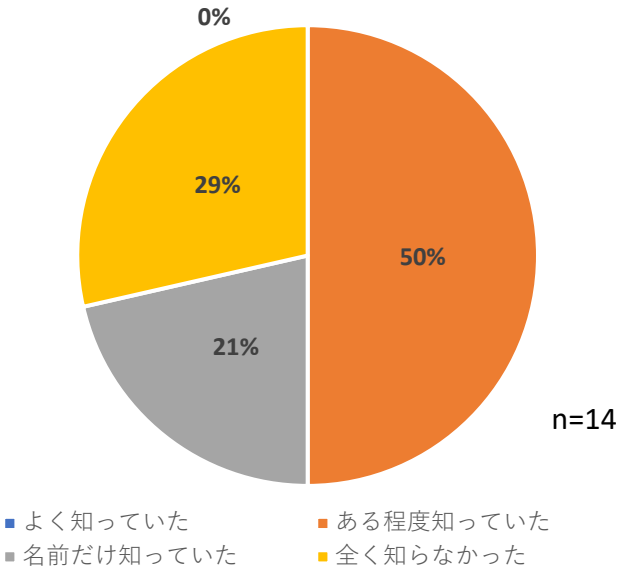
選択肢	人数
日本・熊本に興味がある	9
学校・大学の視察	1
留学を希望している	3
日本で就職したい	0
先生のすすめ	3
家族のすすめ	1
友人のすすめ	2
その他	1

「日本・熊本に興味がある」が最多であり、日本・熊本自体への関心が主な起点となっていることが分かる。
一方で、「留学を希望している」「先生のすすめ」「友人のすすめ」も一定数あり、将来の進学を視野に入れる層と、学校からの働きかけによる参加が混在していることがうかがえる。

【アンケートの実施】

3. 熊本に来る前、熊本県についてどの程度知っていましたか？ また、主な情報源は何ですか？

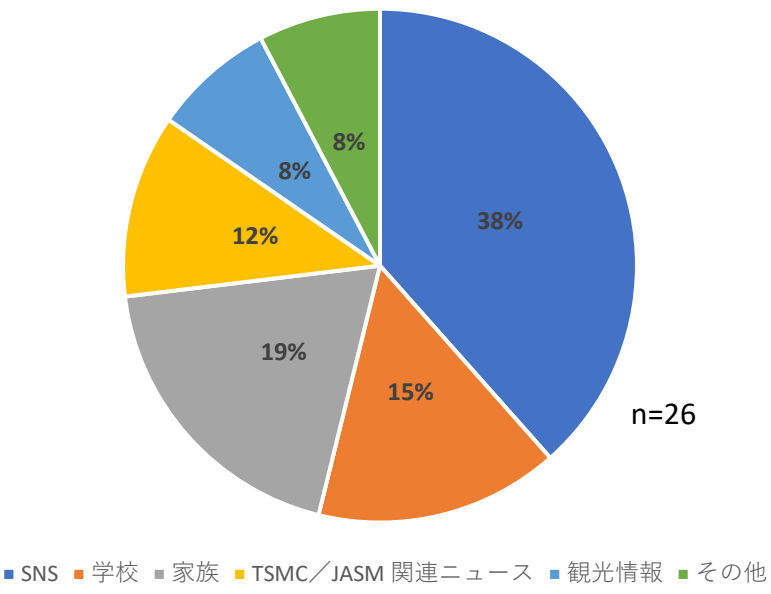
【認知度】



選択肢	人数
よく知っていた	0
ある程度知っていた	7
名前だけ知っていた	3
全く知らなかった	4

「ある程度知っていた」が半数を占める一方、「全く知らなかった」「名前だけ知っていた」も計7名おり、事前の熊本に関する情報量には幅がある。

【主な情報源】

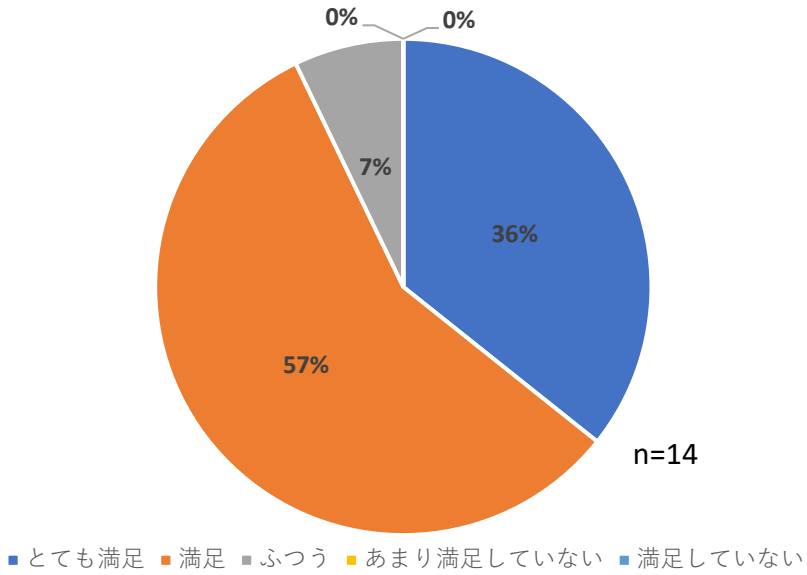


選択肢	人数
SNS	10
学校	4
家族	5
TSMC／JASM 関連ニュース	3
観光情報	2
その他	2

SNSが最も多く、次いで家族・学校が続き、TSMC／JASM 関連ニュースも一定の役割を果たしている。
熊本の認知拡大には、SNS・学校経由の情報発信と、産業ニュースとの連動が有効であると考えられる。

【アンケートの実施】

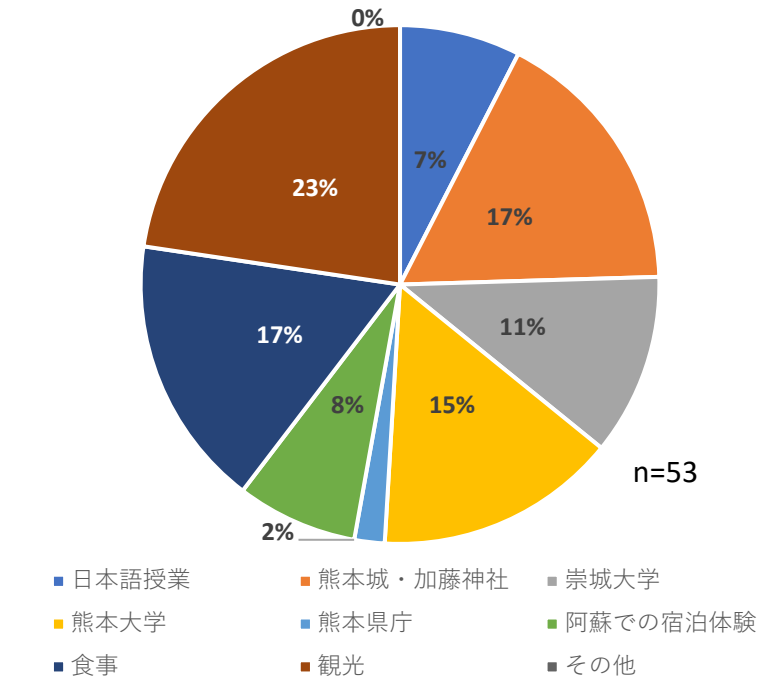
② プログラム内容についての感想
4. プログラム全体の満足度は？



選択肢	人数
とても満足	5
満足	8
ふつう	1
あまり満足していない	0
満足していない	0

「とても満足」「満足」で計13名と大多数を占めており、否定的評価は見られない。
プログラム全体として高い満足度が得られていると評価できる。

5. 特に良かった活動は何ですか？（複数選択可）



活動名	人数
日本語授業	4
熊本城・加藤神社	9
崇城大学	6
熊本大学	8
熊本県庁	1
阿蘇での宿泊体験	4
食事	9
観光	12
その他	0

「観光」が最多で、熊本城・加藤神社、食事、熊本大学も高評価であり、観光・文化・大学訪問を組み合わせた構成が参加者に受け入れられている。
崇城大学、日本語授業、阿蘇での宿泊体験も一定の評価を得ており、多様な体験要素が好印象につながっている。

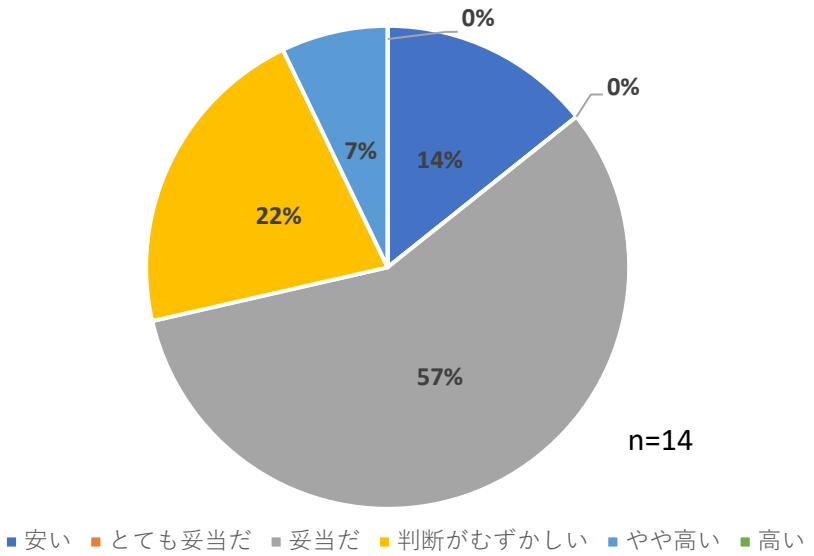
【アンケートの実施】

6. 最も印象に残った内容や感想は何ですか？（記述）

・日本人・大学生との交流（会話、街歩き、食事）
・熊本大学・崇城大学での交流
・熊本城、阿蘇での宿泊体験、風景・自然
・爆破実験、JASM を近くに感じたこと などが多く挙げられた。
特に、「交流型」「体験型」のプログラムが参加者の満足度を高めていると考えられる。

③ 費用・時期について

7. 今回の計画の費用についてどう思いますか？

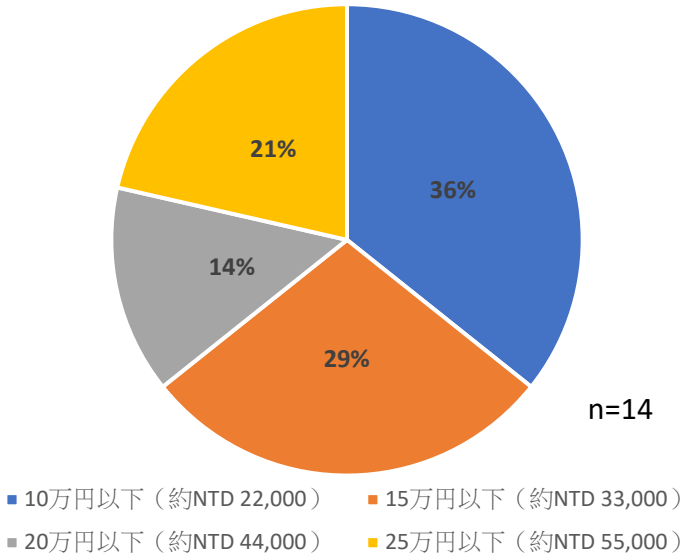


選択肢	人数
安い	2
とても妥当だ	0
妥当だ	8
判断がむずかしい	3
やや高い	1
高い	0

費用については、「妥当」「安い」との回答が多かったものの、その判断の前提には注意が必要である。多くの学生は、今回のプログラム参加費だけでなく、台湾から熊本までの渡航費に加え、新民高校の生徒については前後の期間における宿泊費・交通費を台湾側の旅行会社経由で手配した際の費用も含めた総額をイメージして回答していたと考えられる。そのため、本来は「熊本短期交流計画」自体の参加費のみを対象として評価してもらうべきところを、その点を十分に明示できていなかったことは反省点であり、今後のアンケート設計における改善余地と言える。

【アンケートの実施】

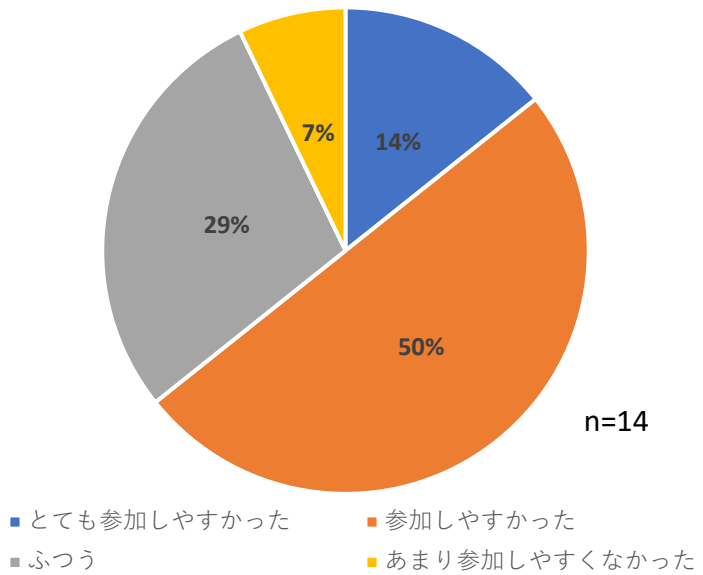
8．7日間（宿泊費・朝夕食込み）の場合、許容可能な金額は？



選択肢（許容金額）	人数
10万円以下（約NTD 22,000）	5
15万円以下（約NTD 33,000）	4
20万円以下（約NTD 44,000）	2
25万円以下（約NTD 55,000）	3

10～15万円を許容する層が中心であり、20万円以上になると人数が減少する。今後も同様の層を対象とする場合、10～15万円程度を目安とした価格設計が望ましい。

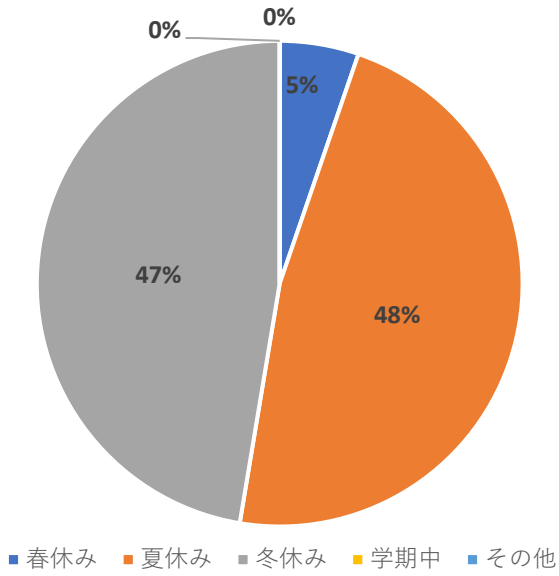
9．今回の実施時期は参加しやすかったですか？



選択肢	人数
とても参加しやすかった	2
参加しやすかった	7
ふつう	4
あまり参加しやすくなかった	1

【アンケートの実施】

10. どの時期が参加しやすいと思いますか？(複数回答可)

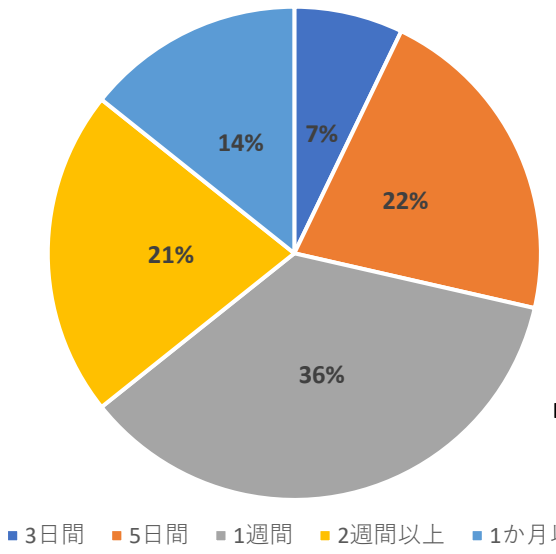


n=19

選択肢（時期）	人数
春休み	1
夏休み	9
冬休み	9
学期中	0
その他	0

夏休み・冬休みが同数で最も参加しやすいとされており、学期中はほとんど支持されていない。今後も長期休暇期間を中心に実施することが適切である。

11. 希望するプログラム期間



n=14

選択肢（期間）	人数
3日間	1
5日間	3
1週間	5
2週間以上	3
1か月以上	2

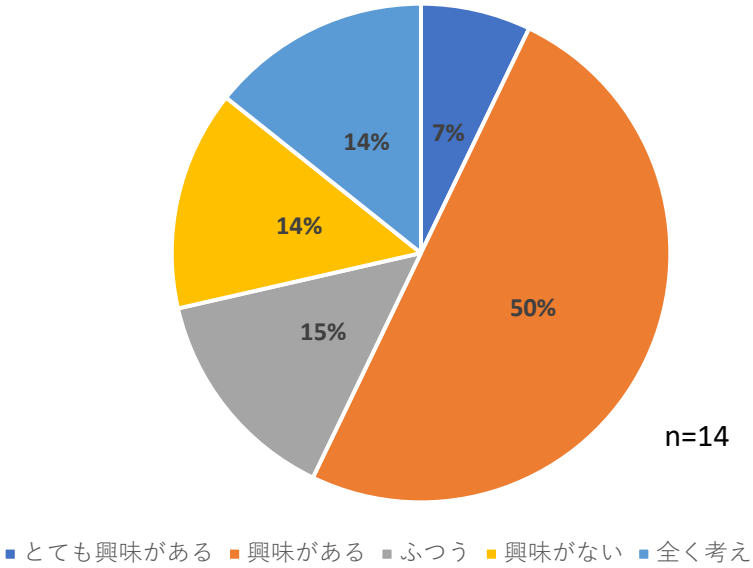
1週間前後を希望する回答が最も多く、次いで2週間以上や5日間が続いており、短期～中期の滞在へのニーズが高いことが分かる。また、1か月以上を希望する回答も一定数あり、本格的な滞在・準留学型プログラムへの関心も存在する。

④台湾人留学生向け短期滞在受け入れモニター実施業務

【アンケートの実施】

④ 熊本留学・進学意向

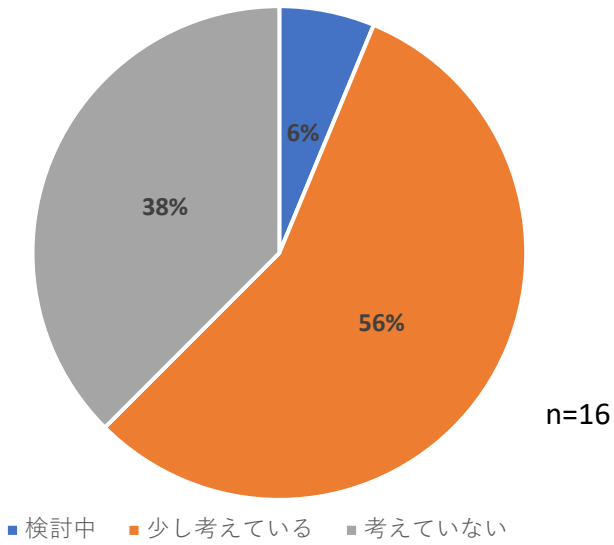
12. 高校卒業後、熊本（日本）への留学・進学に興味はありますか？



選択肢	人数
とても興味がある	1
興味がある	7
ふつう	2
興味がない	2
全く考えていない	2

「興味がある」が最多であり、「とても興味がある」を含めると、約半数が肯定的な関心を持っている。一方で、「興味がない」「全く考えていない」も合わせて4名おり、多様な意向が共存している。

13. 日本以外、または日本国内でも熊本以外の地域への留学・進学を考えていますか？

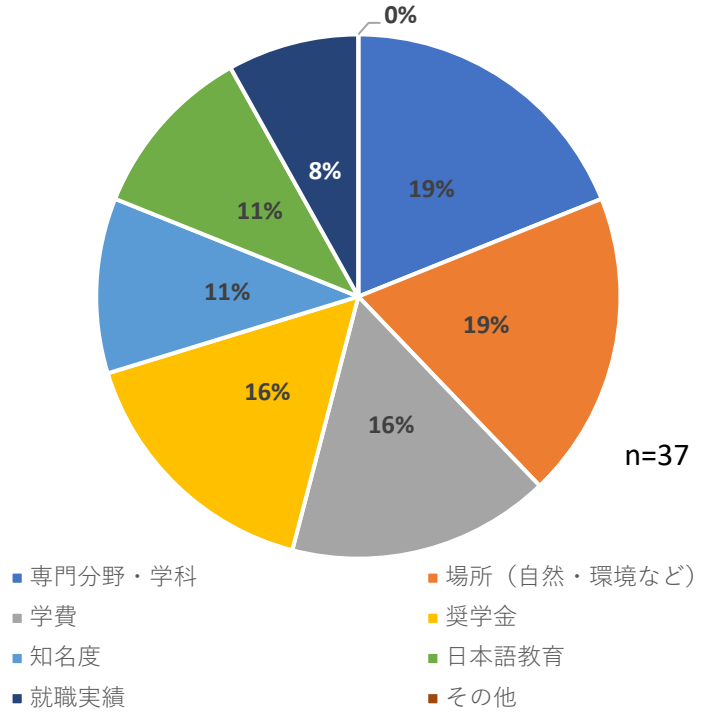


選択肢	人数
検討中	1
少し考えている	9
考えていない	6

多くの生徒が熊本以外も視野に入れており、東京・大阪・京都・北海道や、US・HK・UK などの地域が自由記述で挙げられている。
熊本は日本や海外の他地域と並ぶ候補の一つとして認識されているため、熊本独自の魅力（自然・生活環境・費用・サポート）を明確に打ち出す必要がある。

【アンケートの実施】

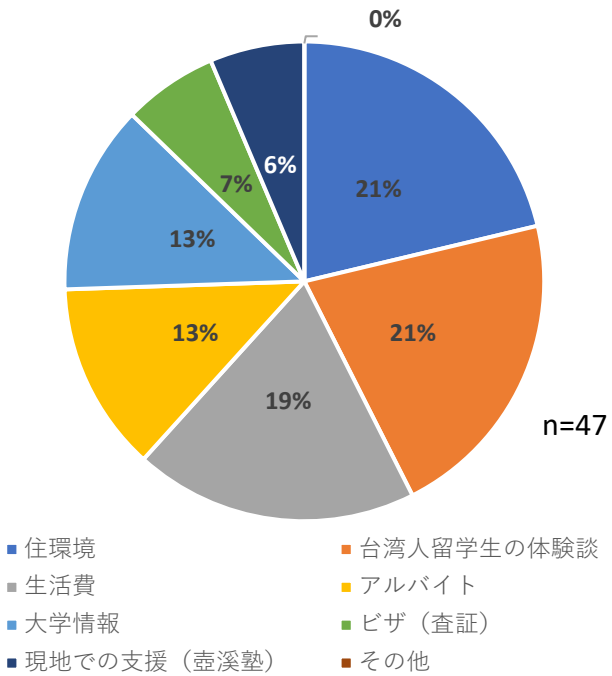
14. 進学先を決める主な基準は何ですか？（複数選択可）



選択肢（項目）	人数
専門分野・学科	7
場所（自然・環境など）	7
学費	6
奨学金	6
知名度	4
日本語教育	4
就職実績	3
その他	0

「専門分野・学科」「場所（自然・環境）」「学費」「奨学金」が特に重視されており、学問内容・生活環境・経済面のバランスが進学先選択において重要となっている。

15. 熊本留学を検討する際、どのような情報を知りたいですか？（複数選択可）



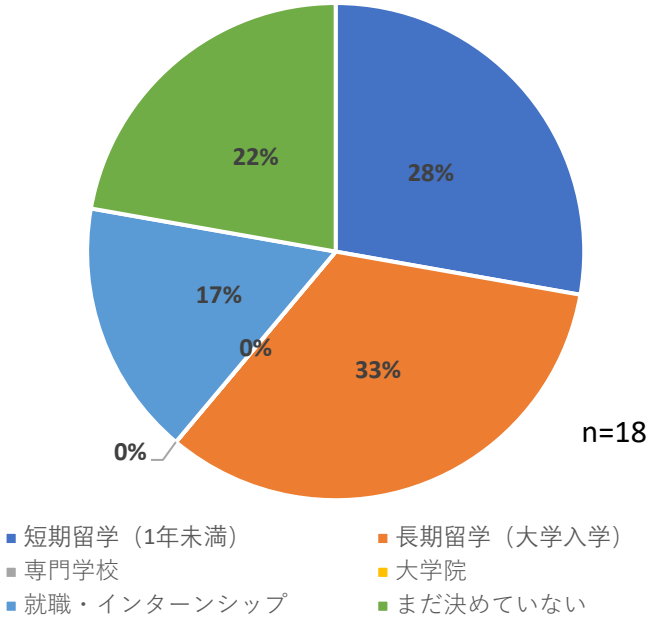
選択肢（情報項目）	人数
住環境	10
台湾人留学生の体験談	10
生活費	9
アルバイト	6
大学情報	6
ビザ（査証）	3
現地での支援（壺溪塾）	3
その他	0

「住環境」「台湾人留学生の体験談」が最も多く、次いで「生活費」が続いており、具体的な生活イメージと先輩の生の声へのニーズが非常に高い。

④台湾人留学生向け短期滞在受け入れモニター実施業務

【アンケートの実施】

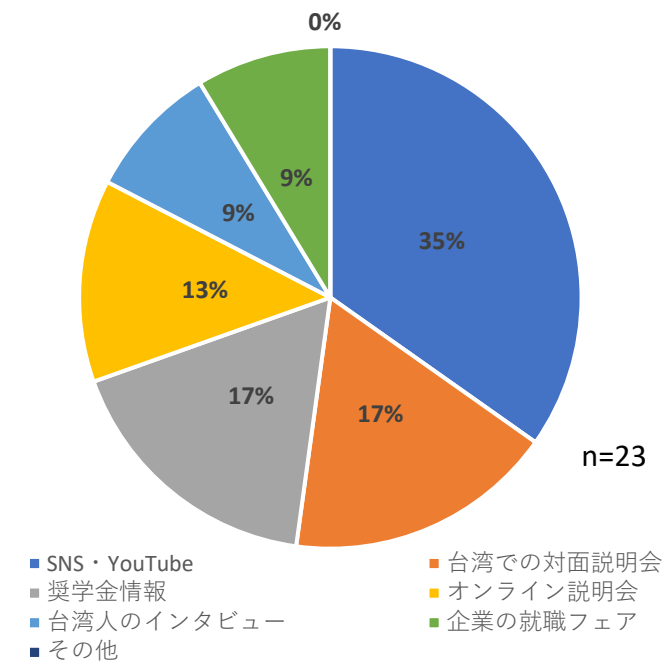
16. 熊本への進学を検討する場合、希望する進路は？（複数選択可）



選択肢（進路）	人数
短期留学（1年未満）	5
長期留学（大学入学）	6
専門学校	0
大学院	0
就職・インターンシップ	3
まだ決めていない	4

長期留学（大学入学）と短期留学の双方にニーズがあり、「まだ決めていない」層も多いことから、段階的に進路検討を支援するプログラムや情報提供が重要となる。

17. 熊本への留学・就職促進のため、台湾ではどのような情報発信や活動が必要だと思いますか？（複数選択可）



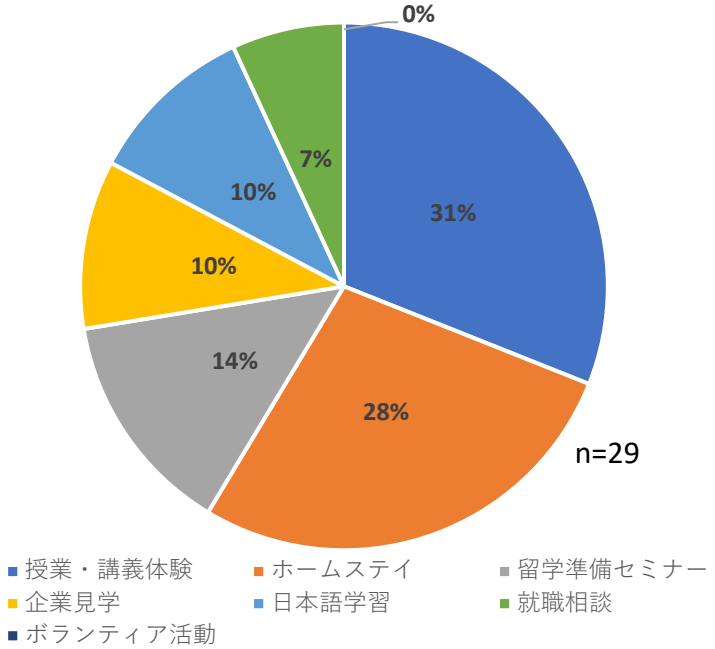
選択肢（施策）	人数
SNS・YouTube	8
台湾での対面説明会	4
奨学金情報	4
オンライン説明会	3
台湾人のインタビュー	2
企業の就職フェア	2
その他	0

SNS・YouTube を通じた発信が最も求められており、次いで台湾での対面説明会や奨学金情報が重視されている。

【アンケートの実施】

⑤今後のプログラムへの期待

18. 今後どのようなプログラムがあれば参加したいですか？（複数選択可）



選択肢（プログラム内容）	人数
授業・講義体験	9
ホームステイ	8
留学準備セミナー	4
企業見学	3
日本語学習	3
就職相談	2
ボランティア活動	0

「授業・講義体験」「ホームステイ」が強く望まれており、短期交流後の次のステップとして、実際の授業参加や現地生活に近い体験を求めていることが分かる。

19. 自由記述（要約）

自然体験を増やしてほしい、JASM 見学時間が短い・TSMC が見られず残念、講演が多く体験時間を増やしてほしい、といった改善要望とともに、「皆がフレンドリーで、とても楽しい経験だった」との肯定的なコメントも多く見られた。

④台湾人留学生向け短期滞在受け入れモニター実施業務

【実施の様子】

















【アンケートの実施】

（３）結論と今後の示唆

1.本プログラムは、全体として「満足」「とても満足」が多数を占め、高い満足度を得ている。特に観光、熊本城・加藤神社、熊本大学、食事、日本人・大学生との交流が高く評価されている。

2.費用については表面的には「妥当」「安い」との評価が多いが、渡航費および新民高校における前後の宿泊・交通費を含めた総額で判断している学生が多かったと考えられ、本来の「プログラム単体の費用評価」とはズレが生じている可能性がある。この点を明確に区別せずアンケートを実施したことは反省点であり、今後の説明文・設計の改善が必要である。

3.実施時期は夏休み・冬休みが参加しやすいとされ、希望期間は 1週間前後が最多であるが、2週間以上や1か月以上の長期希望も一定数あり、短期～準長期まで複数タイプのコース設定にニーズがある。

4.熊本（日本）留学・進学には一定の関心があり、進学先決定の基準として「専門分野・学科」「場所（自然・環境）」「学費・奨学金」が重視されている。熊本の自然環境と生活コストの優位性、奨学金制度を明確に示すことが重要である。

5.留学検討に際しては、「住環境」「台湾人留学生の体験談」「生活費」に対する情報ニーズが非常に高く、SNS・YouTube と組み合わせた情報発信、および台湾人留学生の声を活かしたコンテンツが効果的と考えられる。

6.今後のプログラムとして、「授業・講義体験」「ホームステイ」「留学準備セミナー」への関心が高く、短期交流を入口として、本格的な留学に段階的につなげる仕組み（フォローアッププログラム）の構築が求められる。

7.自由記述からは、「自然・体験の時間の拡充」「JASM/TSMC 関連コンテンツの強化」「講演と体験型活動のバランス再調整」といった改善方向性が示されており、今後のプログラム改善の具体的な検討材料となる。

本報告書は、以上のアンケート結果をもとに、熊本短期交流計画の現状評価と、今後の留学・交流促進に向けた改善・発展の方向性を示すものである。